

適用車種	年式
エスティマ	2007年6月以降

目 次

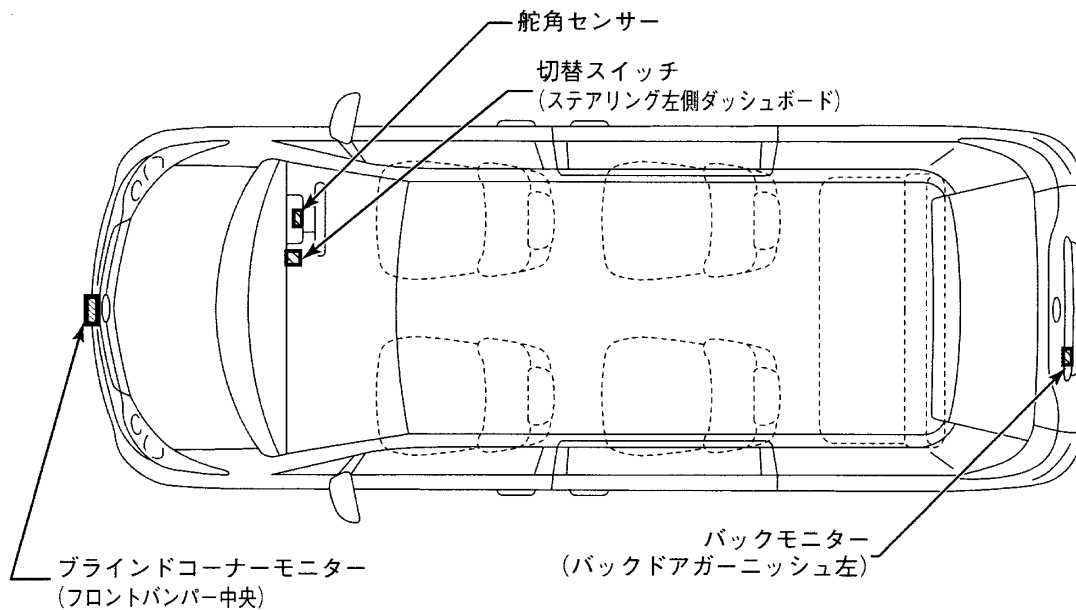
4 周辺モニター編

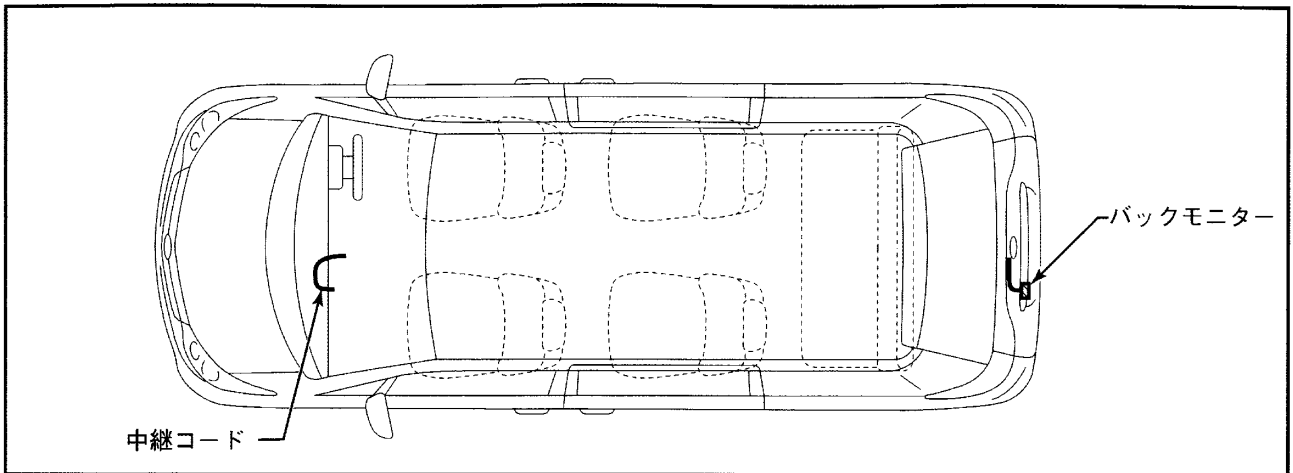
4-1	結線方法 …… (“システム配線図及び各機種”の“線結方法”を参照)	
4-2	周辺モニター及び舵角センサーの取付概要 ……	4-1
4-3	バックモニターの取付及び配線 ……	4-2
4-4	舵角センサーの取付及び配線 ……	4-9
4-5	バックモニター貼付用型紙の使用法 ……	4-17
4-6	CRCコード一覧 ……	4-18
4-7	ブラインドコーナーモニターの取付及び配線 ……	4-19

👉 アドバイス

「各品目（機種）の概要」の注意事項を確認の上、取り付けてください。

4-2	周辺モニター及び舵角センサーの取付概要
-----	---------------------





・車両部品の取外し

サイドレジスター (R)

インパネクラスター

目かくしパネル

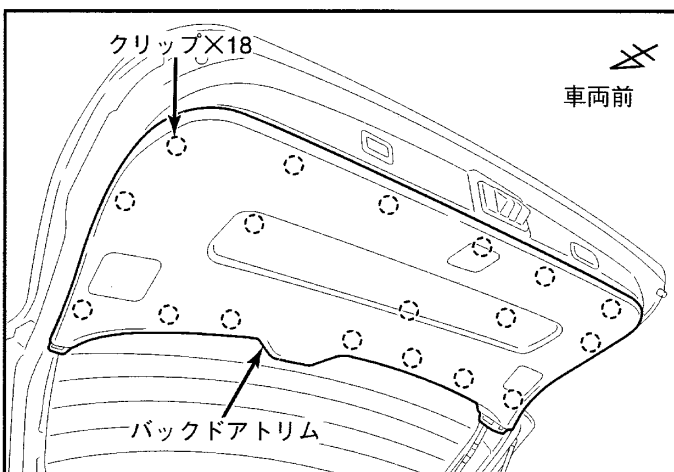
グローブボックス

バックドアアッパートリム

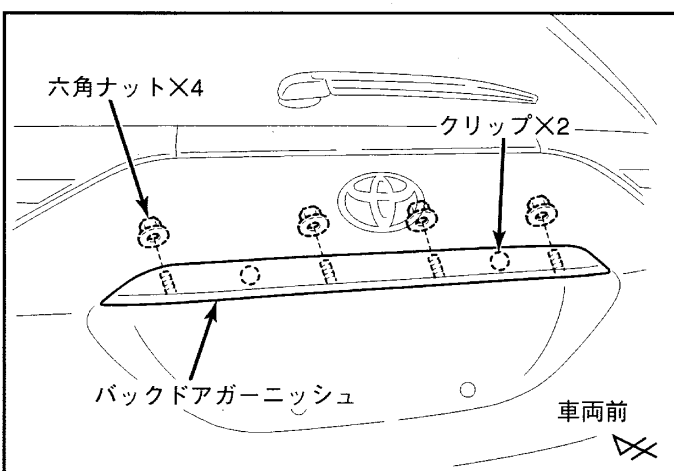
カバー

バックドアサイドトリム (L,R)

(以上の部品取外しは、1-3 車両部品の取外しを参照)



(1) バックドアトリムを取り外す。



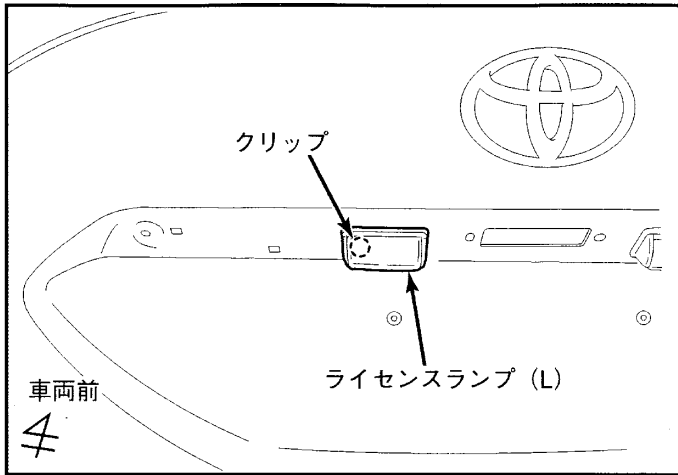
(2) バックドアガーニッシュを取り外す。

⚠ 注意

バックドアオープナースイッチを取り外している為、バックドアを閉めるとロックが掛かりますので注意してください。

👉 アドバイス

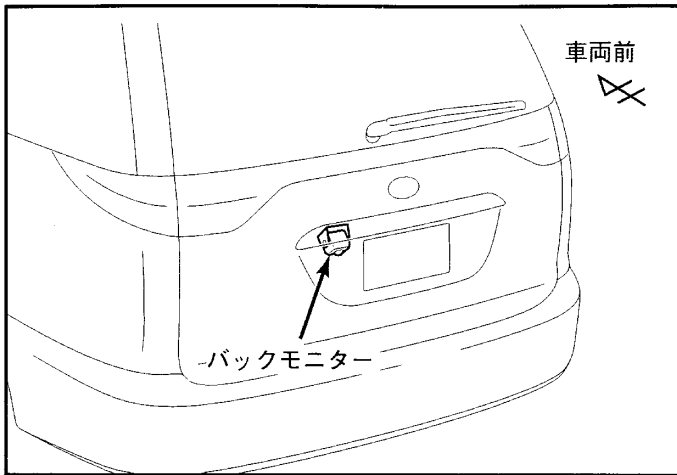
バックドアガーニッシュを取り外す際、車両内側からクリップをつまんで、押し出すように外してください。



(3) ライセンスランプ (L) を取り外す。

👉 アドバイス

ライセンスランプ (L) を取り外す際、
車両内側からクリップをつまんで、押し
出すように外してください。



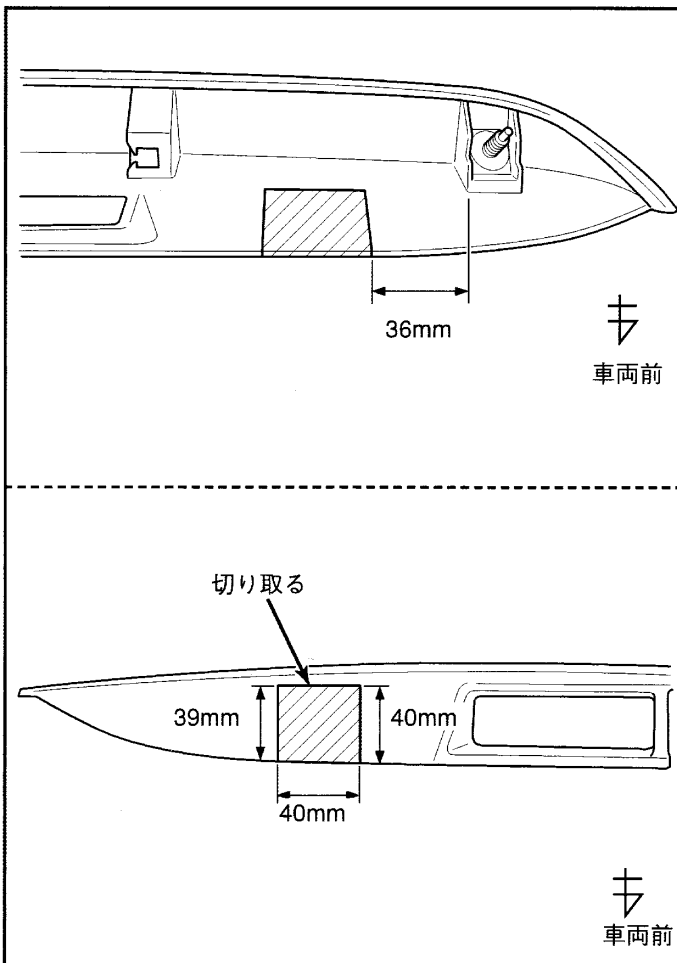
・バックモニターの取付

👉 アドバイス

「各品目（機種）の概要」の注意事項を確認の上、取り付けてください。

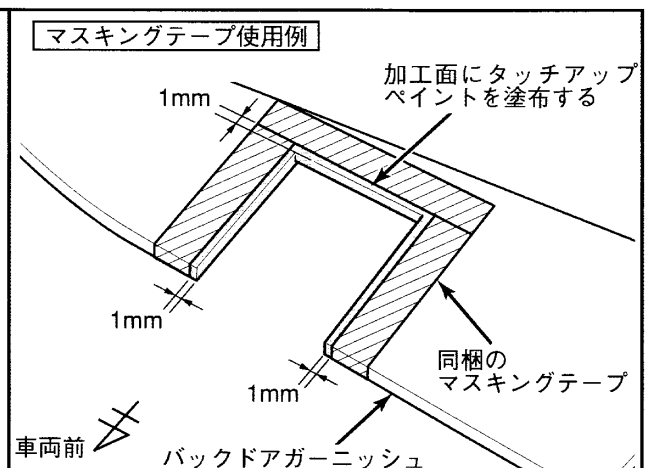
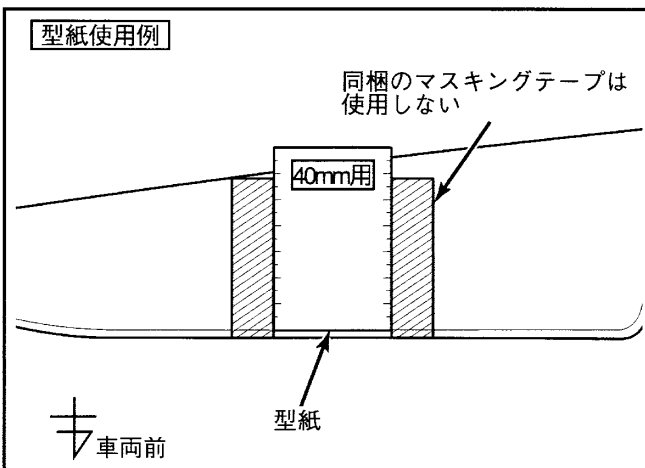
■ 取付位置概要

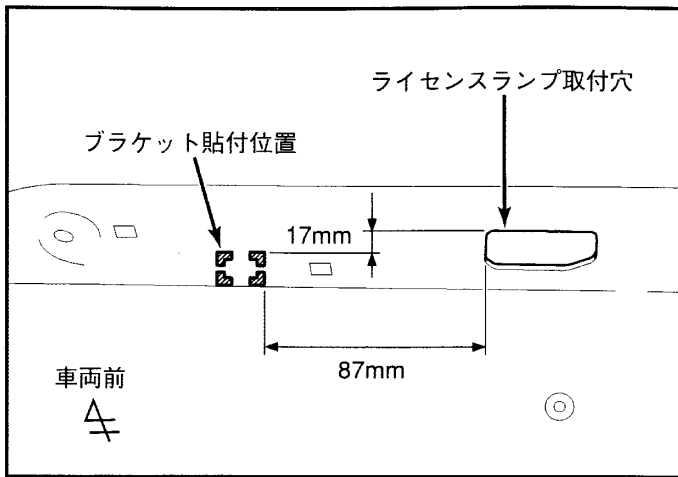
(1) 型紙を使用して、バックドアガーニッシュを寸法通りに切り取る。



⚠️ 注意

- ・ドリルおよびエアソーを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- ・切り取り加工部は、ヤスリがけしてバリ取り処理を行ってください。
- ・ヤスリを使用する際は、一定方向（押す方向）でかけるようにしてください。引く方向でかけるとメッキおよび塗装がはがれる恐れがあります。
- ・仕上げ作業終了後に加工面にタッチアップペイント、08866-00202を塗布してください。タッチアップペイントは腐食防止の為が必要です。
- ・バックドアガーニッシュの加工面に切り欠きカバーを貼り付けてください。

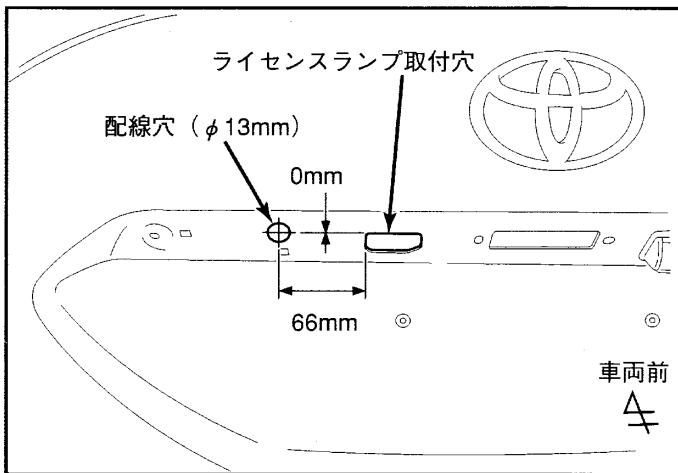




- (2) バックモニター貼付用型紙を使用して車両ボデー（バックドアガーニッシュ部）にバックモニターのブラケット貼り付け位置を決める。

👉 アドバイス

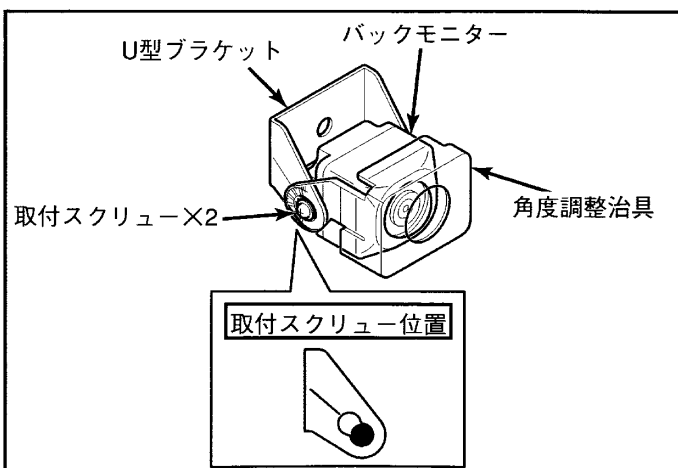
- ・ブラケット貼付位置のマーキングについては、周辺モニター編の「4-5 バックモニター貼付用型紙の使用法」を参照して行ってください。
- ・取付ブラケットはU型ブラケットを使用してください。
- ・貼り付け位置付近は、ホワイトガソリンをきれいな布につけて汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。



- (3) 車両ボデー（バックドアガーニッシュ部）に配線穴（φ13mm）をあける。

⚠️ 注意

- ・ドリルおよびホルソーを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- ・穴あけ作業を行う際は、裏側に車両ハーネス等がないことを確認してください。
- ・切り粉がボデー内部に残らないよう、ボデー内側にガムテープ等を貼ってください。
- ・穴あけ加工部は、ヤスリがけしてバリ取り処理を行ってください。
- ・穴あけ後、エアガン等で切り粉を除去してください。
- ・穴あけ加工部は、防錆剤を塗布してください。



- (4) U型ブラケットをバックモニターに組み付け、角度調整治具を取り付ける。

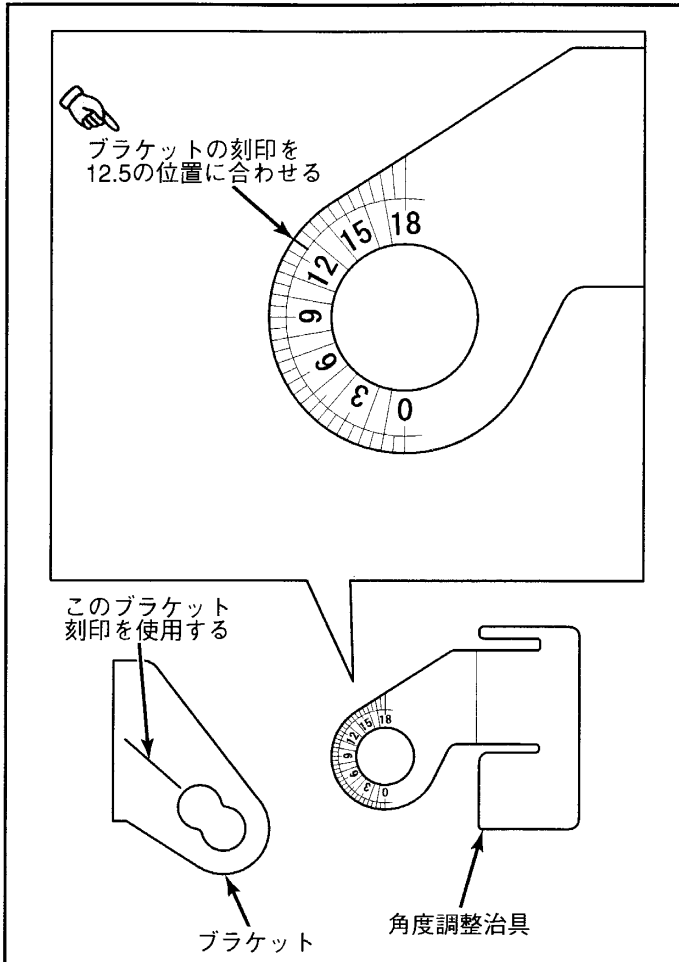
👉 アドバイス

- ・取付スクリー位置を確認してください。
- ・角度調整治具を広げすぎると破損する恐れがありますので、広げすぎないようにしてください。

(5) バックモニターの角度を調整する。

アドバイス

バックモニターの角度調整は、角度調整治具を使用して行ってください。
 角度調整方法は、「各品目（機種）の概要」を参照の上、行ってください。

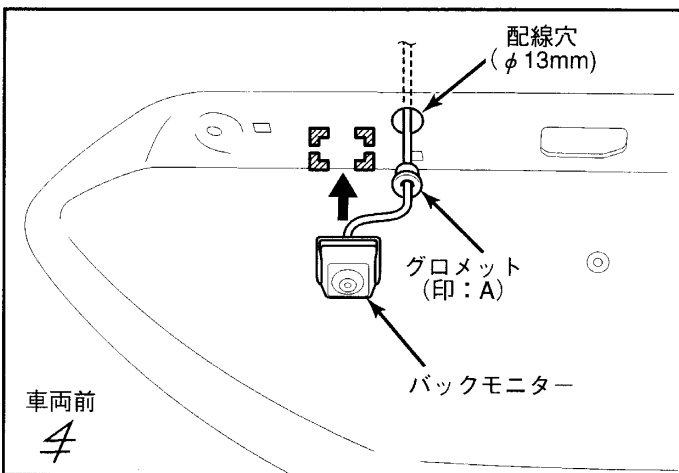


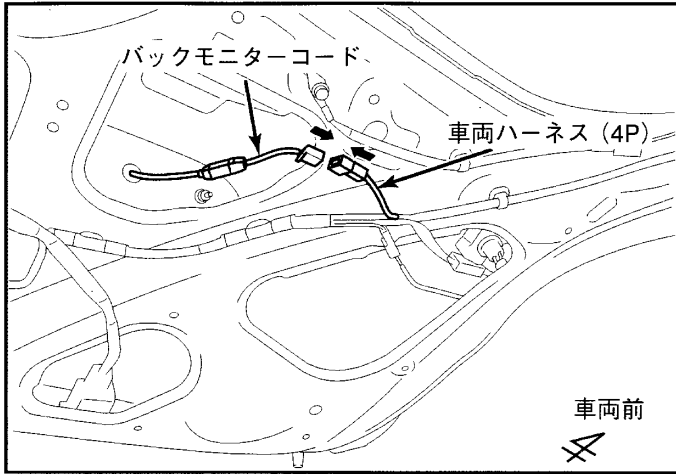
(6) マーキングしたブラケット貼付位置にブラケットを貼り付け、バックモニターを取り付ける。

(7) 車両ボデーの配線穴にグロメット（印：A）を取り付ける。

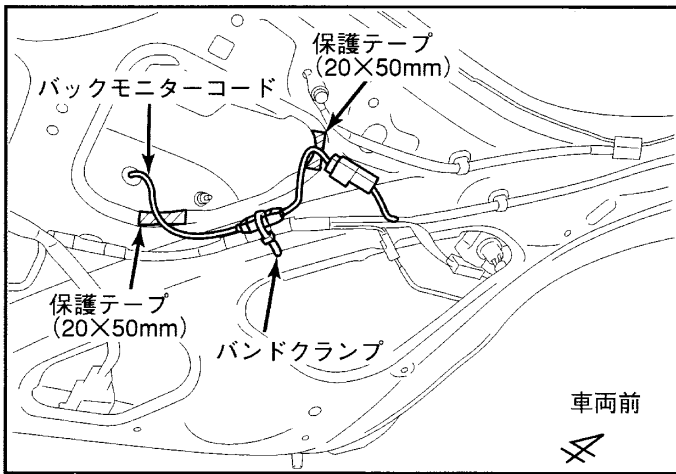
アドバイス

- ・水入りする恐れがありますので、グロメットは隙間のないようにしっかり取り付けてください。
- ・バックモニターコードのたるみがないようにバックモニターコードを引き込んでください。





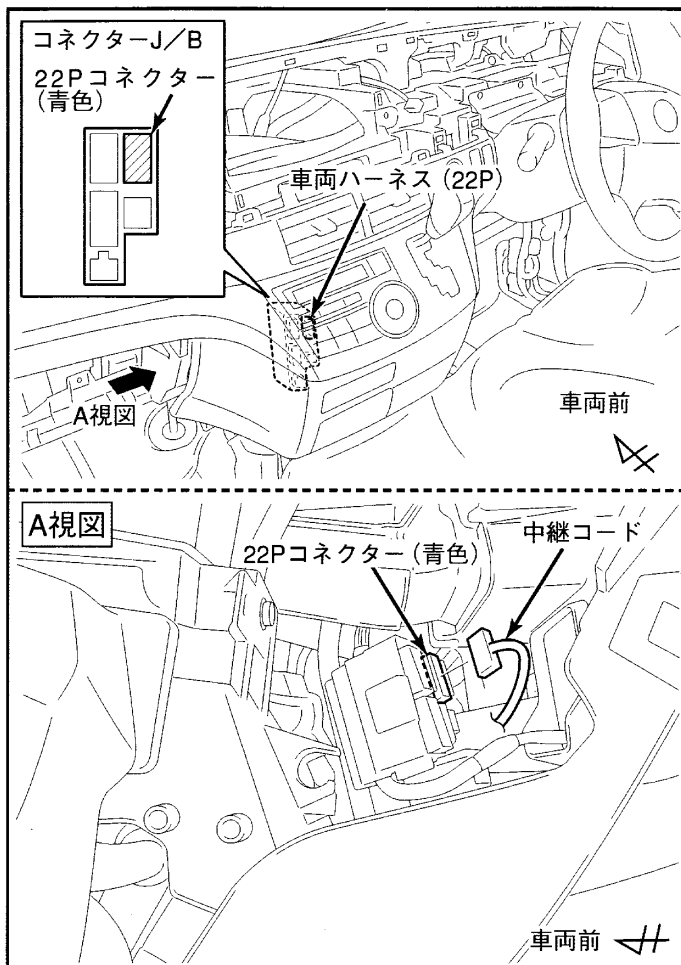
- (8) バックモニターコードを車両ハーネス (オプション4Pコネクター) を接続する。



- (9) バックモニターコードをバンドクランプで固定する。

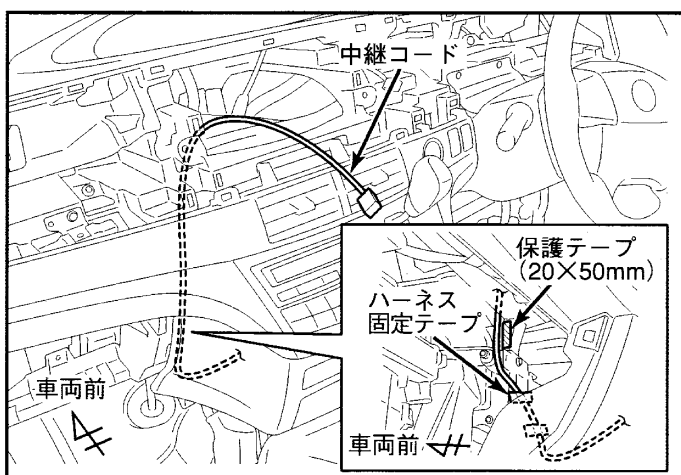
△注意

車両エッジ部分に保護テープを貼ってください。保護テープは、はさみ等で寸法通り切って使用してください。以降の作業も同様に行ってください。



・中継コードの配線

- (1) エアコンコントロールパネル裏の22Pコネクタ (青色) に中継コードを接続する。

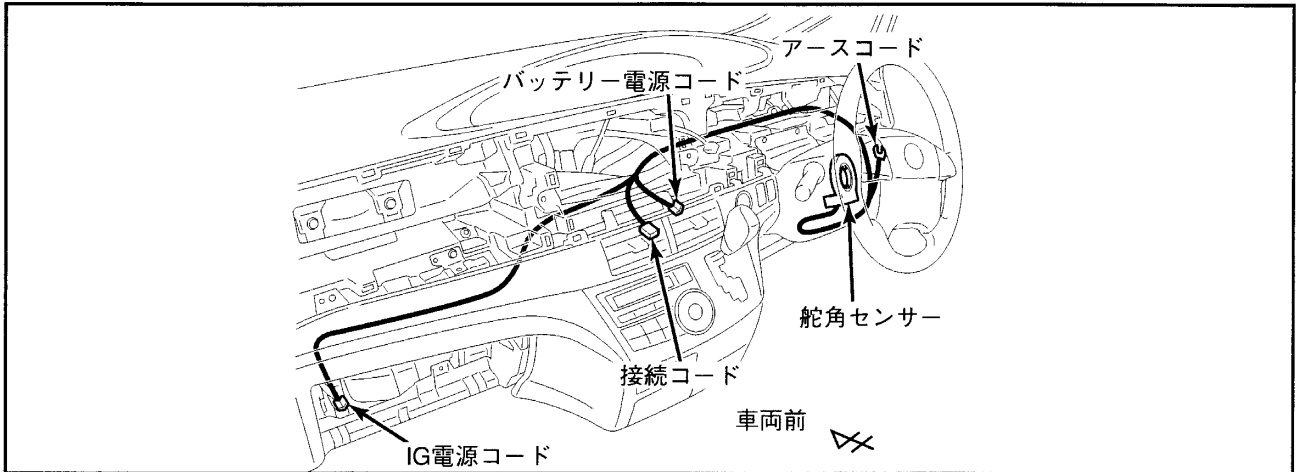


- (2) 中継コードをハーネス固定テープで固定しながらオーディオ開口部まで配線する。

⚠ 注意

車両エッジ部分に保護テープを貼ってください。

【車両に既設の舵角センサーがついていない場合】



・車両部品の取外し

サイドレジスター

インパネクラスター

目かくしパネル

アンダーカバー (R)

フロントドアスカッププレート (R)

カウルサイドトリム (R)

スイッチパネル

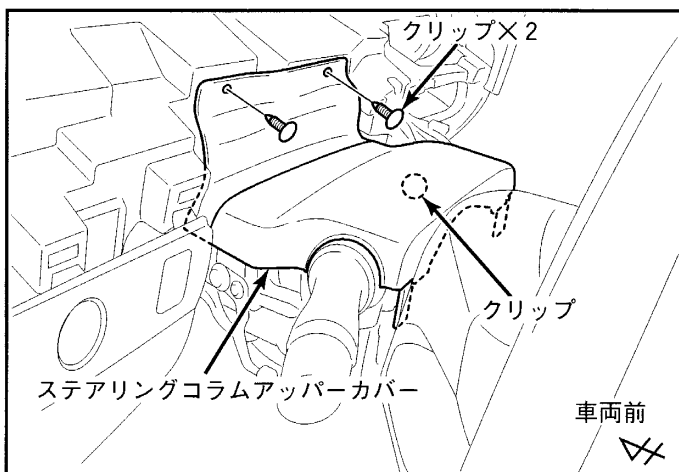
インパネロワカバー

ステアリングコラムロワカバー

グローブボックス

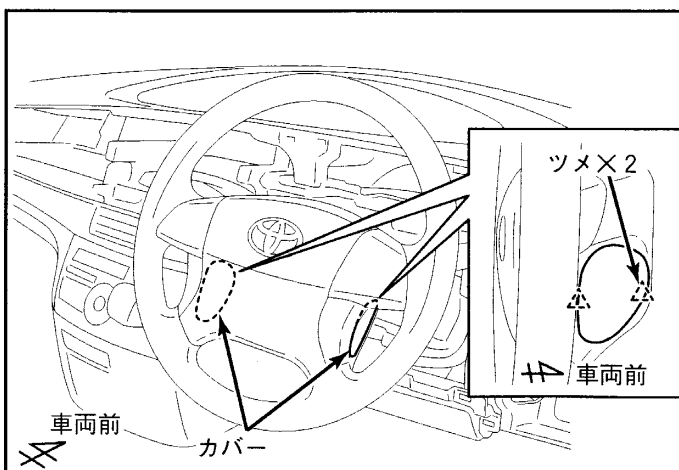
アンダーカバー (L)

(以上の部品取外しは、1-3 車両部品の取外しを参照)



■ 08695-00550 (ハーネスC) 使用の場合

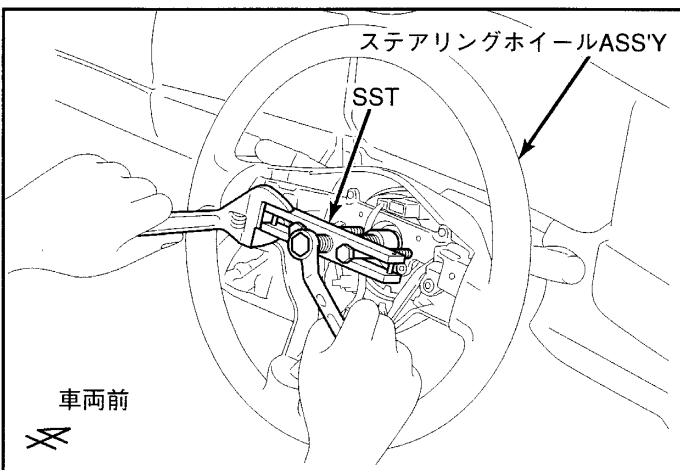
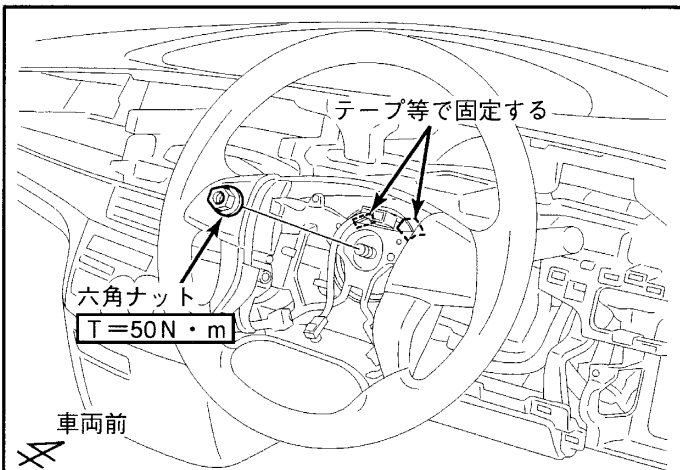
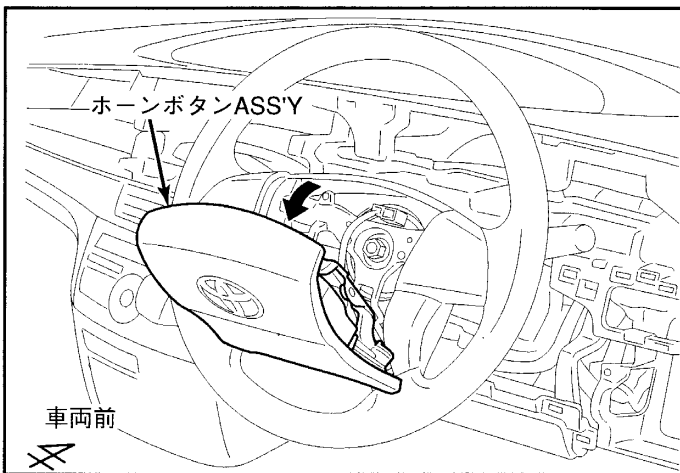
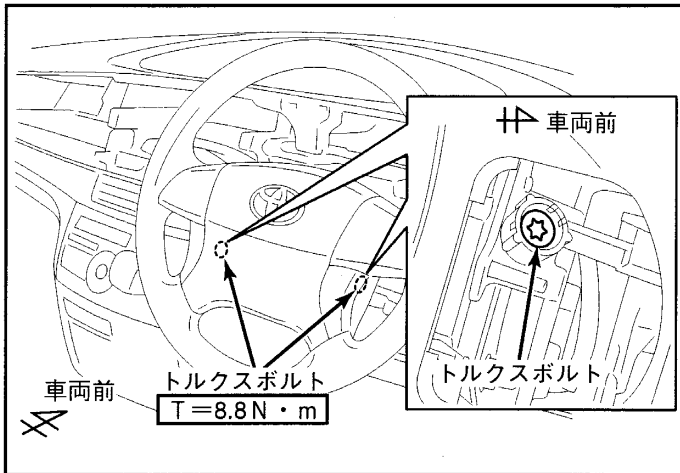
- (1) ステアリングコラムアッパーカバーを取り外す。



⚠ 注意

元に戻す際は、図中のトルク値 (T) N・mにて締め付けてください。

- (2) ステアリングホイールASSYからカバーを取り外す。



アドバイス

- ・「各品目（機種）の概要」の注意事項を確認の上、取り付けてください。
- ・実際に車両を走行して、ステアリングホイールASS'Yが中立位置（ハンドル直進状態）であることを確認してください。
- ・ハンドル位置、タイヤ角度を目視で確認してから作業を行ってください。
- ・走行する際は、必ず平坦な舗装路で行ってください。

(3) ホーンボタンASS'Yのトルクスボルトを緩める。

(4) ホーンボタンASS'Yを取り外す。

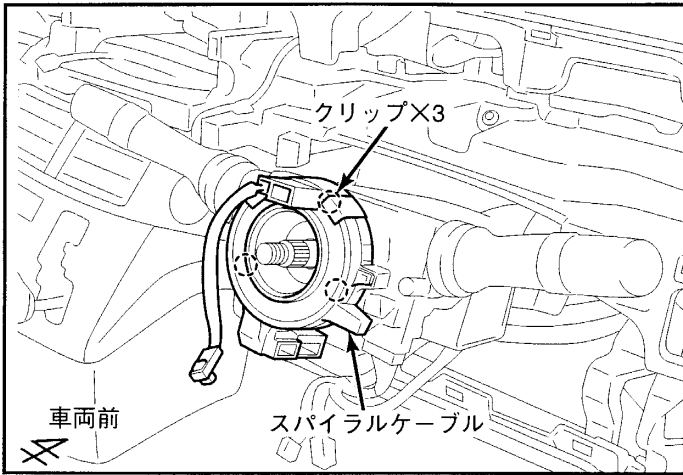
(5) スパイラルケーブルが回転ないようにテープ等で固定する。

(6) 六角ナットを取り外す。

(7) SSTをステアリングホイールASS'Yにセットし、SSTを使用してステアリングホイールASS'Yを取り外す。

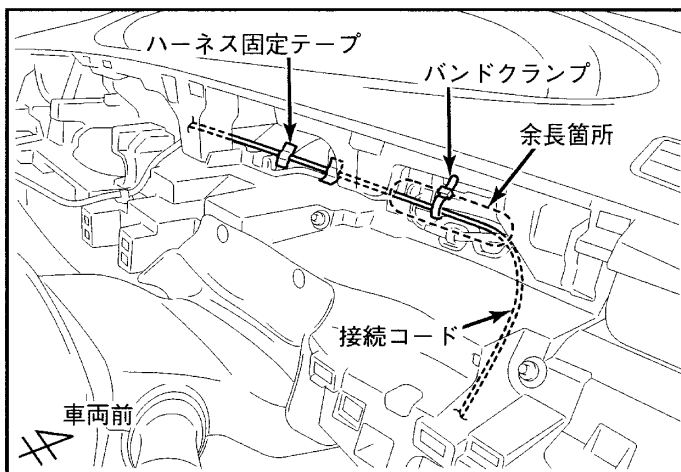
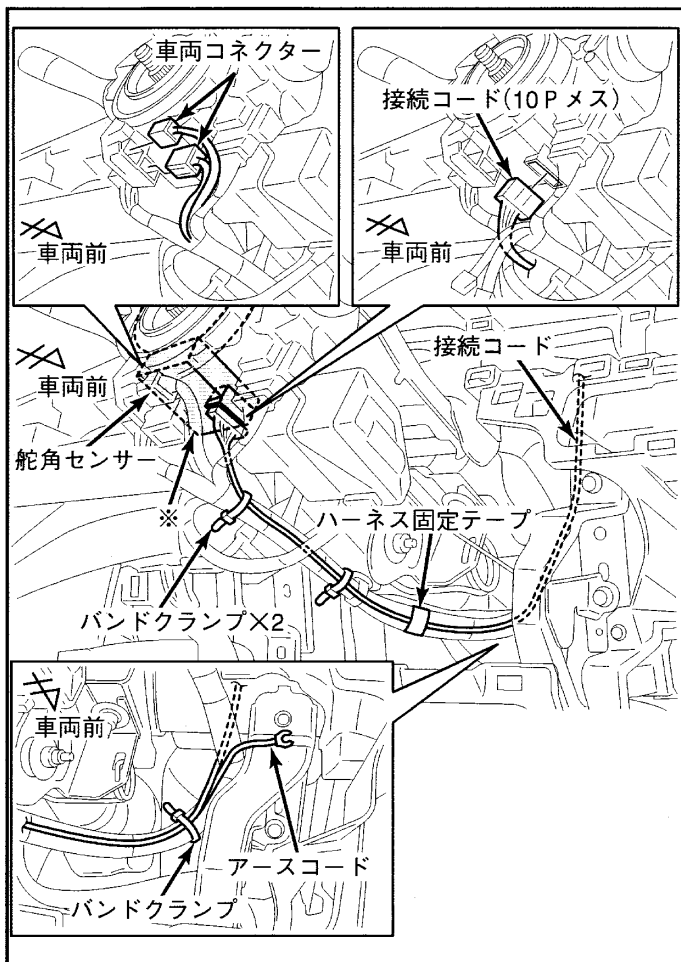
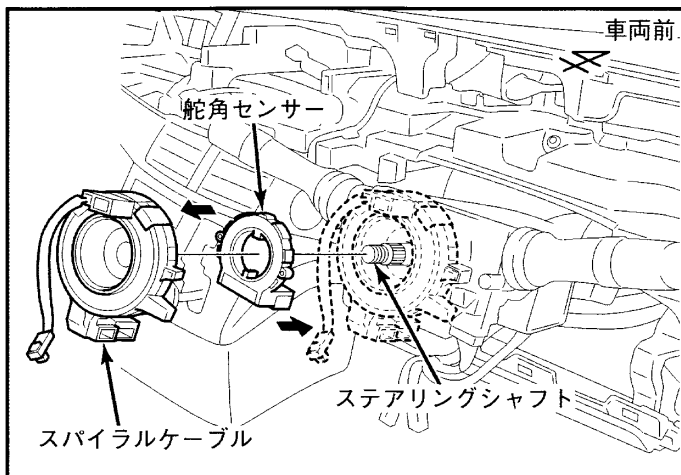
注意

- ・ SST品番：09950-50013 (09951-05010、09952-05010、09953-05020、09954-05021)
- ・ SSTのセンターボルト（ネジ部および先端部）は、グリス等を塗布してから使用してください。
- ・ ステアリングホイールASS'Yは、必ず中立位置（ハンドル直進状態）にしてから取り外し作業を行ってください。



(8) スパイラルケーブルを取り外す。

「MEMO」



・舵角センサーの取付

- (1) スパイラルケーブルに舵角センサーを組み付け、ステアリングシャフトに組み付ける。
- (2) 舵角センサーに接続コード(10Pメス)を接続する。
- (3) スパイラルケーブルの車両コネクタを戻し、接続コードをバンドクランプおよびハーネス固定テープで固定しながら配線する。

⚠注意

- ・ロワカバー復元時、舵角センサー(※部)に無理な力が加わると故障の原因につながります。車両ハーネス、接続コードが確実に収納できているか確認しながら復元してください。
- ・チルト機構、ワイパーレバーやテレスコなどの動作を妨げないように注意してください。
- ・接続コードは、つぶると断線の可能性があり、膨らみすぎるとコラムカバーと干渉しますので、注意してください。
- ・接続コードがかみ込まないように注意して配線してください。

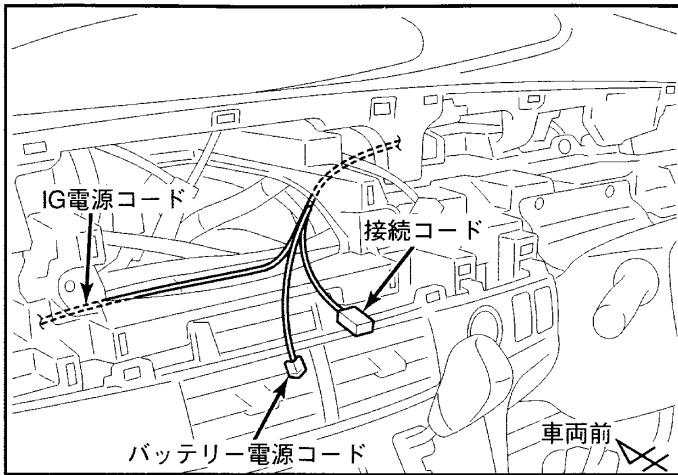
👉アドバイス

- ・接続コードは、スパイラルケーブル用ハーネスの内側を通し、配線してください。
- ・ハーネス固定テープは、はさみ等で切って使用してください。以降の作業も同様に行ってください。

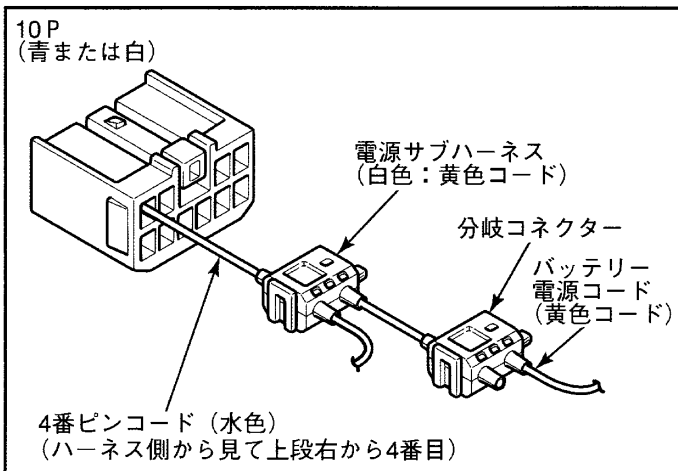
- (4) 接続コードをバンドクランプおよびハーネス固定テープで固定しながら配線する。

⚠注意

余長分となったコードは、かみ込まないように束ねてバンドクランプを使用して固定してください。



- (5) 接続コードおよびバッテリー電源コード、IG電源コード配線する。

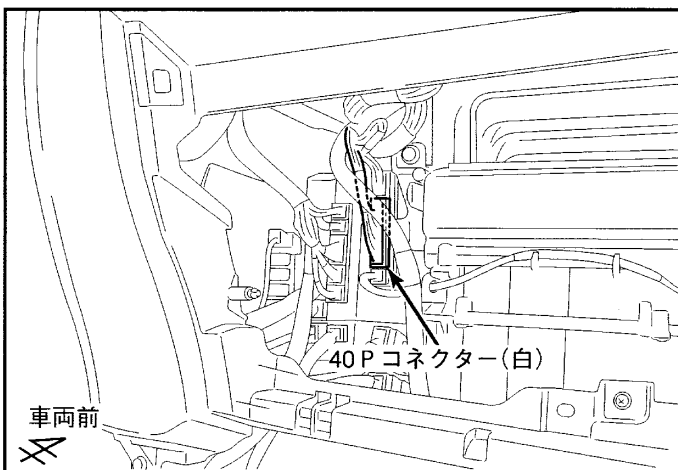


・バッテリー電源の取り出し

- (1) 電源サブハーネス (白色：黄色コード) をバッテリー電源コード (黄色コード) の分岐コネクタに取り付け、オーディオ10Pコネクタ (青または白色) のバッテリー電源に接続する。

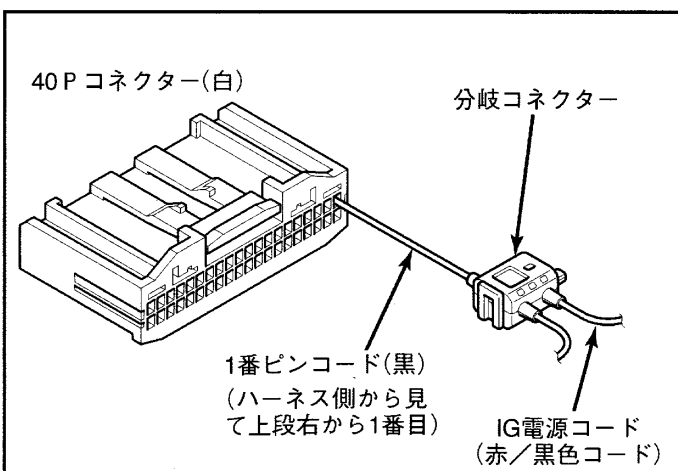
👉 アドバイス

分岐コネクタの接続方法については、「各品目 (機種) の概要」を参照してください。



・IG電源の取り出し

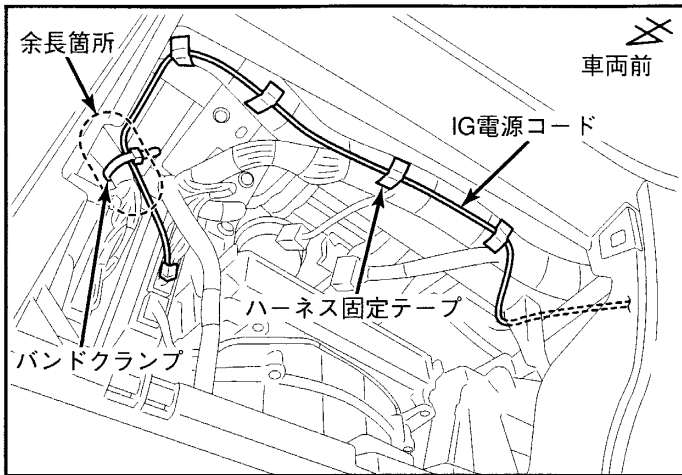
- (1) グローブボックス内J/B横エアコン ECUの40Pコネクタ (白色) を取り外す。



- (2) 40Pコネクタ (白色) のIG電源にIG電源コード (赤/黒色コード) の分岐コネクタを接続する。

👉 アドバイス

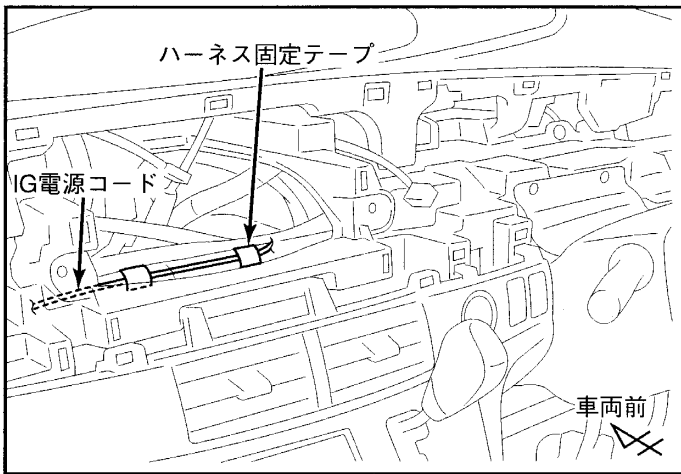
分岐コネクタの接続方法については、「各品目 (機種) の概要」を参照してください。



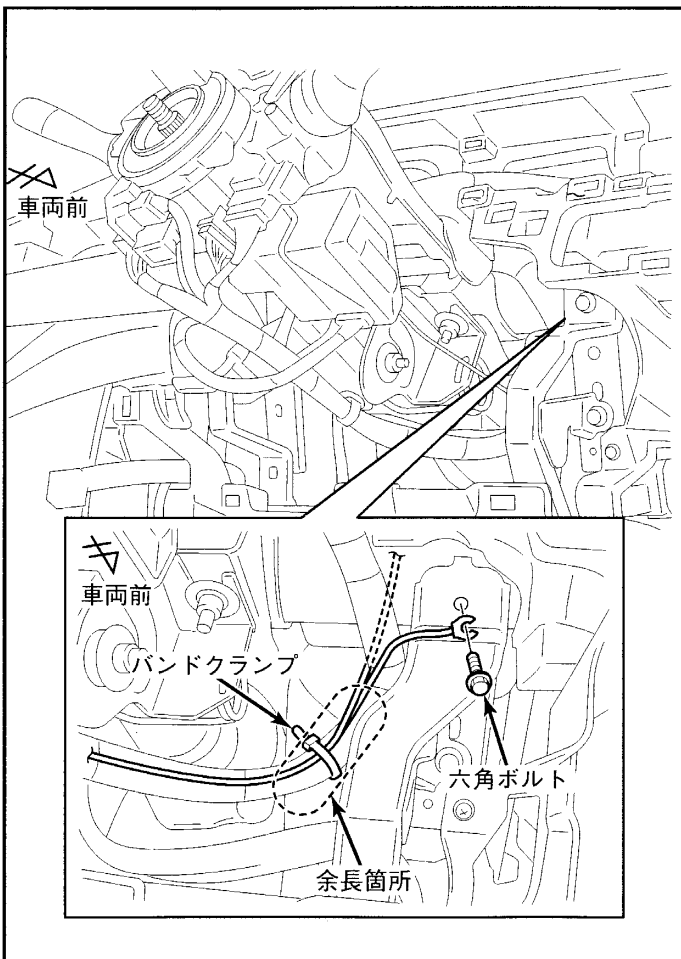
(3) IG電源コードをバンドクランプおよびハーネス固定テープで固定しながら配線する。

注意

余長分となったコードは、かみ込まないように束ねてバンドクランプを使用して固定してください。



(4) IG電源コードをハーネス固定テープで固定しながら配線する。



・アースの取り出し

(1) アースコードをオーディオ開口部内の六角ボルトで取り付ける。

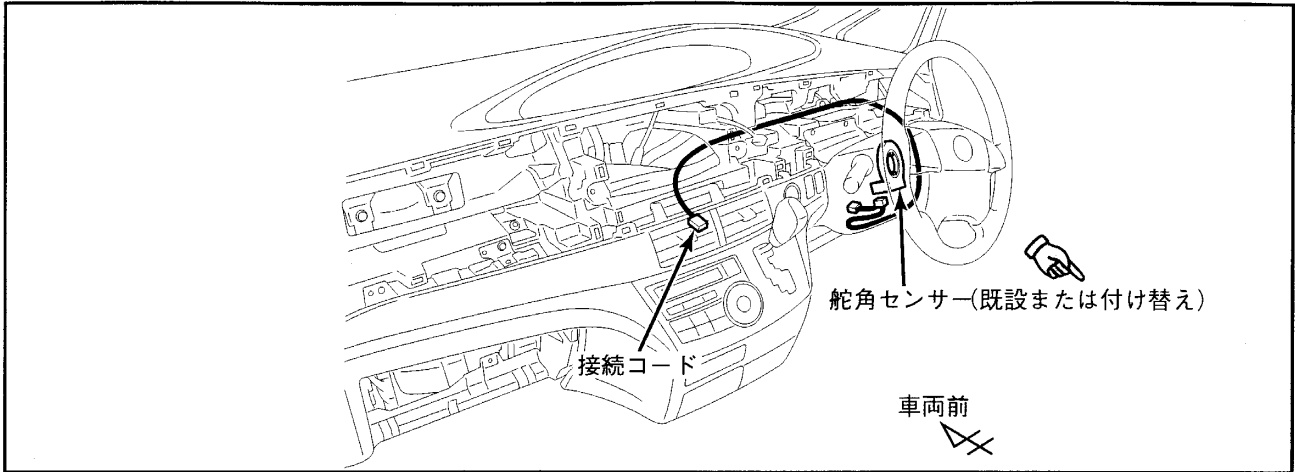
アドバイス

ボデーアースが確実に取れていることをテスターで確認してください。

注意

余長分となったコードは、かみ込まないように束ねてバンドクランプを使用して固定してください。

【車両に既設の舵角センサーがついている場合】

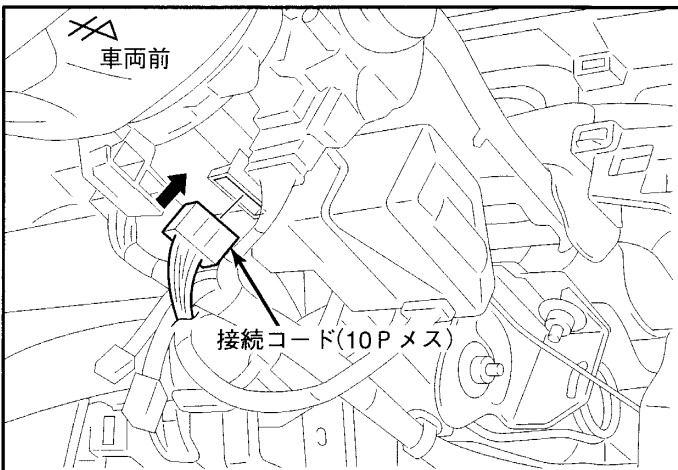


・車両部品の取外し

- サイドレジスター
- インパネクラスター
- 目かくしパネル
- アンダーカバー (R)
- フロントドアスカッフプレート (R)

- カウルサイドトリム (R)
- スイッチパネル
- インパネロワカバー
- ステアリングコラムロワカバー

(以上の部品取外しは、1 - 3 車両部品の取外しを参照)

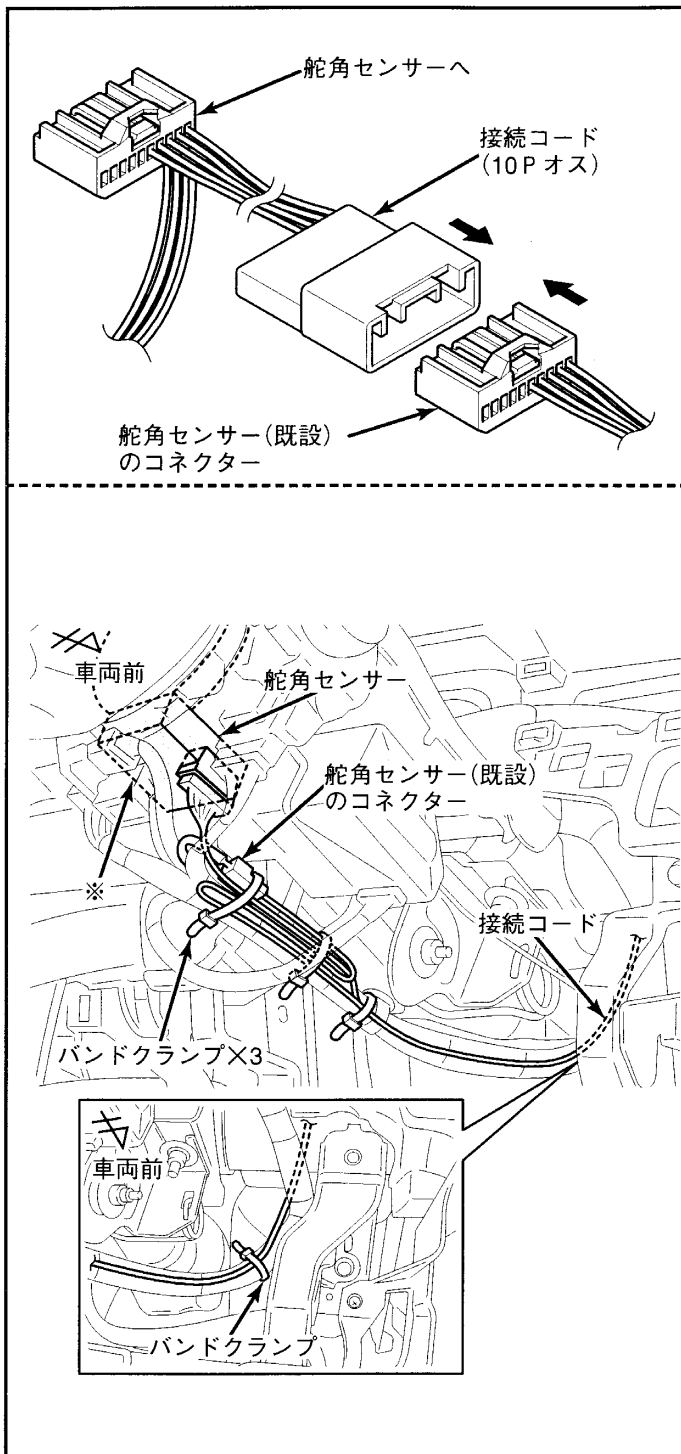


■ 08695-00500 (ハーネスA) 使用の場合

アドバイス

「各品目 (機種) の概要」の注意事項を確認の上、取り付けてください。

- (1) 舵角センサーのコネクター (車両ハーネス) を取り外し、舵角センサーに接続コード (10Pメス) を接続する。



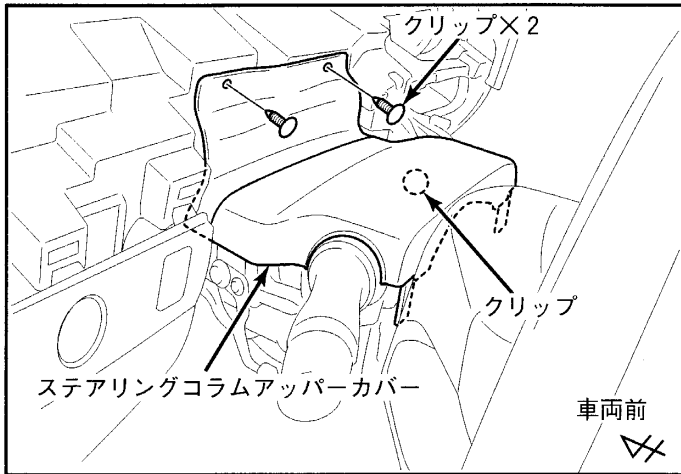
- (2) 舵角センサーのコンネクター(車両ハーネス)に接続コード(10Pオス)を接続する。
- (3) 接続コードをバンドクランプで固定しながら配線する。

⚠ 注意

- ・ロワカバー復元時、舵角センサー(※部)に無理な力が加わると故障の原因につながります。車両ハーネス、接続コードが確実に収納できているか確認しながら復元してください。
- ・チルト機構、ワイパーレバーやテレスコなどの動作を妨げないように注意してください。
- ・接続コードは、つっぱると断線の可能性があり、膨らみすぎるとコラムカバーと干渉しますので、注意してください。
- ・接続コードがかみ込まないように注意して配線してください。

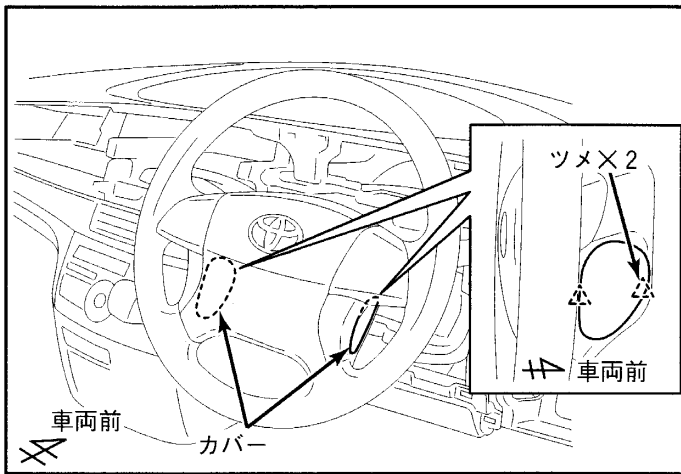
👉 アドバイス

接続コードは、スパイラルケーブル用ハーネスの内側を通し、配線してください。



■ 08695-00540 (ハーネスG) の場合

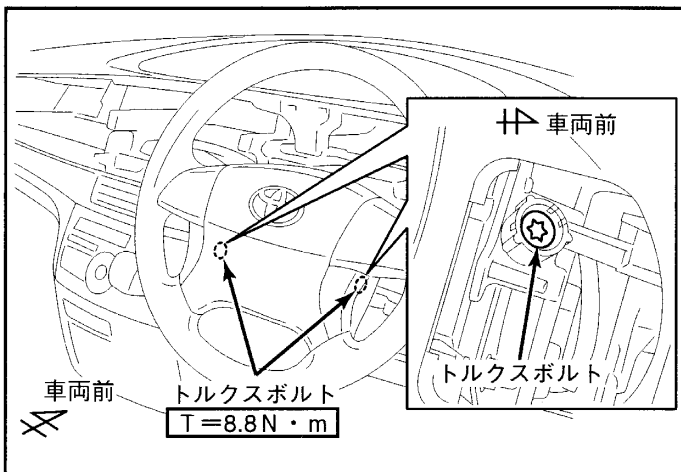
- (1) ステアリングコラムアッパーカバーを取り外す。



⚠ 注意

元に戻す際は、図中のトルク値 (T) N・mにて締め付けてください。

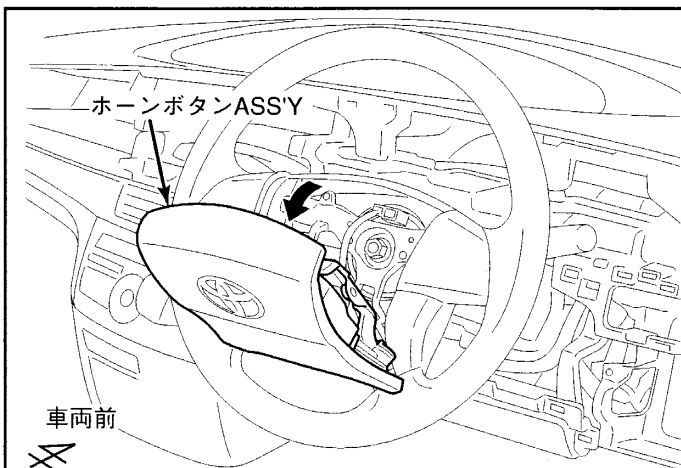
- (2) ステアリングホイールASS'Yからカバーを取り外す。



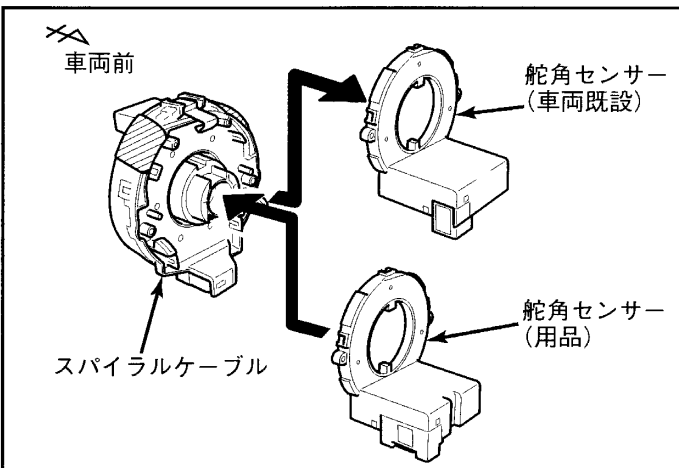
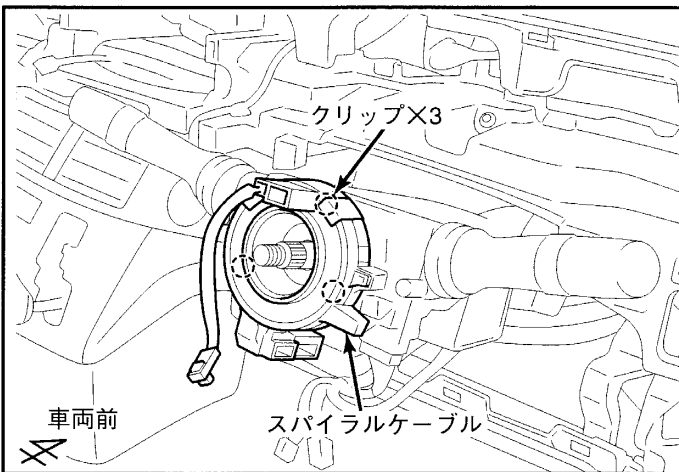
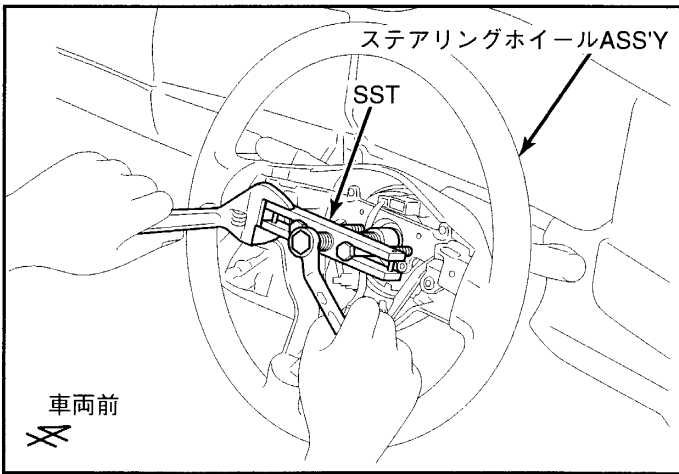
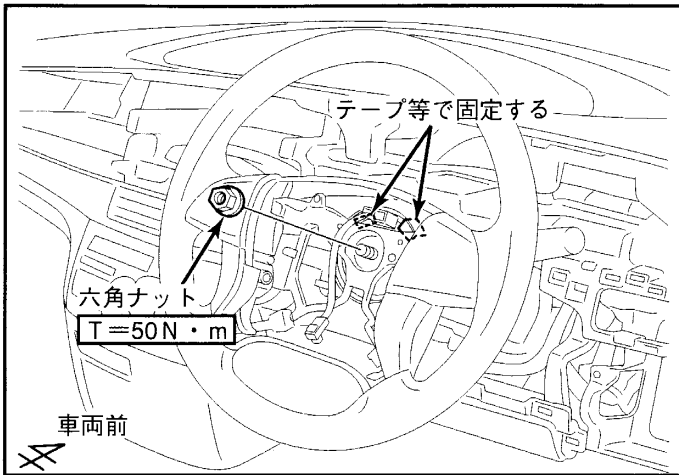
👉 アドバイス

- ・「各品目 (機種) の概要」の注意事項を確認の上、取り付けてください。
- ・実際に車両を走行して、ステアリングホイールASS'Yが中立位置 (ハンドル直進状態) であることを確認してください。
- ・ハンドル位置、タイヤ角度を目視で確認してから作業を行ってください。
- ・走行する際は、必ず平坦な舗装路で行ってください。

- (3) ホーンボタンASS'Yのトルクスボルトを緩める。



- (4) ホーンボタンASS'Yを取り外す。



- (5) スパイラルケーブルが回転しないようにテープ等で固定する。
- (6) 六角ナットを取り外す。

- (7) SSTをステアリングホイールASS'Yにセットし、SSTを使用してステアリングホイールASS'Yを取り外す。

△注意

- ・ SST品番：09950-50013 (09951-05010、09952-05010、09953-05020、09954-05021)
- ・ SSTのセンターボルト（ネジ部および先端部）は、グリス等を塗布してから使用してください。
- ・ ステアリングホイールASS'Yは、必ず中立位置（ハンドル直進状態）にしてから取り外し作業を行ってください。

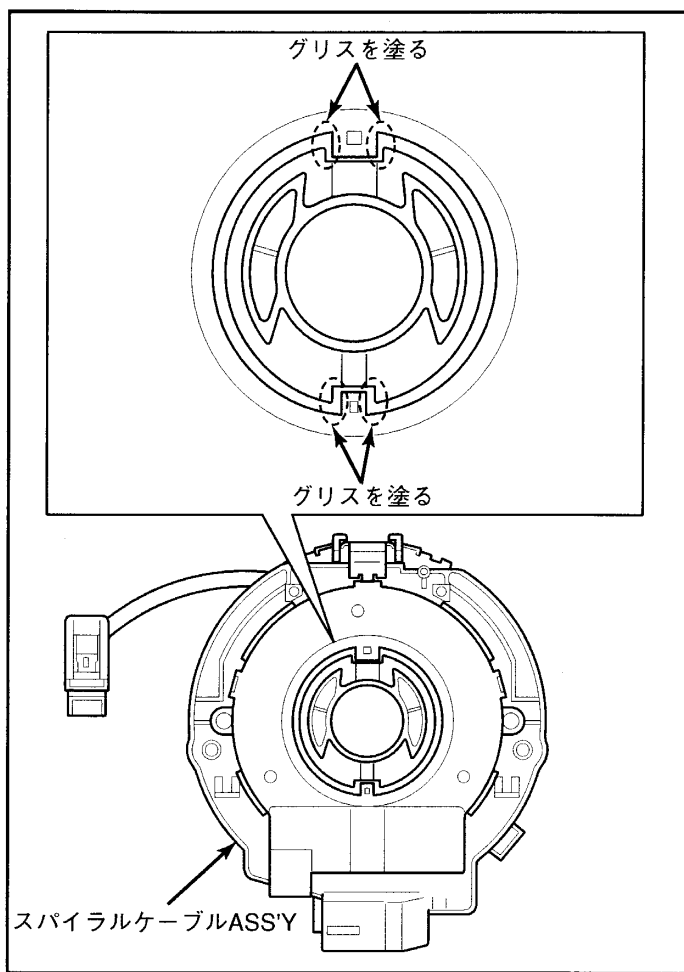
- (8) スパイラルケーブルを取り外す。

・ 舵角センサーの取付

- (1) スパイラルケーブルから舵角センサー（車両既設）を取り外し、舵角センサー（用品）をスパイラルケーブルに組み付ける。

△注意

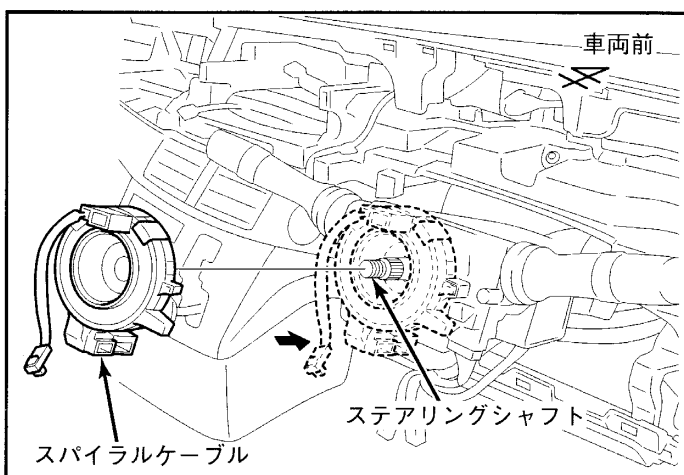
スパイラルケーブルから舵角センサーを取り外す際、スパイラルケーブルのクリップ部を破損しないように慎重に取り外してください。



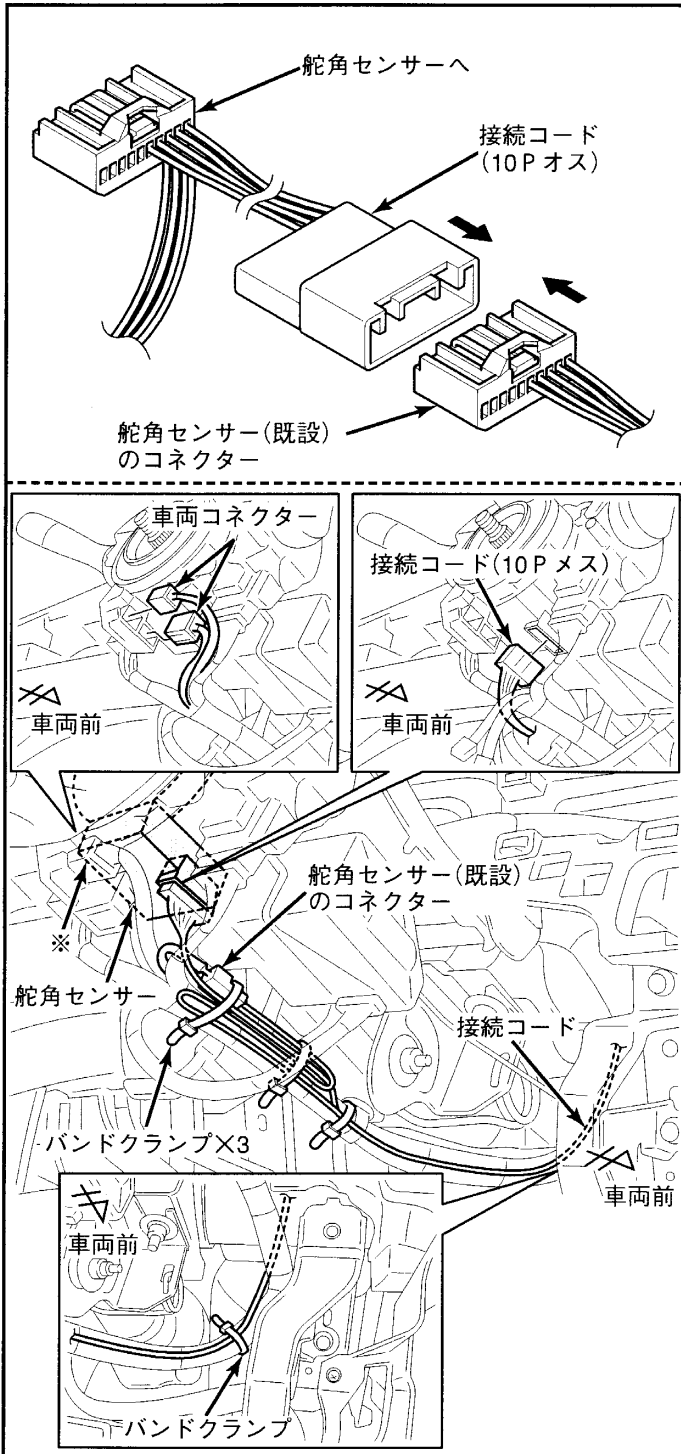
(2) スパイラルケーブルASS'Yの合わせ部分にグリスを塗布する。

👉 アドバイス

- ・スパイラルケーブルASS'Yの合わせ部分（4箇所）にグリスを適量（米粒1粒ぐらい）塗布してください。グリスを塗布しないと、異音発生の原因になります。
- ・グリスは表面に塗布してください。



(3) スパイラルケーブルをステアリングシャフトに組み付ける。



- (3-1) 舵角センサーのコネクター（車両ハーネス）に接続コード（10P オス）を接続する。
- (3-2) スパイラルケーブルの車両コネクタを戻し、接続コードをバンドクランプで固定しながら配線する。

注意

- ・ロワカバー復元時、舵角センサー（※部）に無理な力が加わると故障の原因につながります。車両ハーネス、接続コードが確実に収納できているか確認しながら復元してください。
- ・チルト機構、ワイパーレバーやテレスコなどの動作を妨げないように注意してください。
- ・接続コードは、つっぱると断線の可能性があり、膨らみすぎるとコラムカバーと干渉しますので、注意してください。
- ・接続コードがかみ込まないように注意して配線してください。

アドバイス

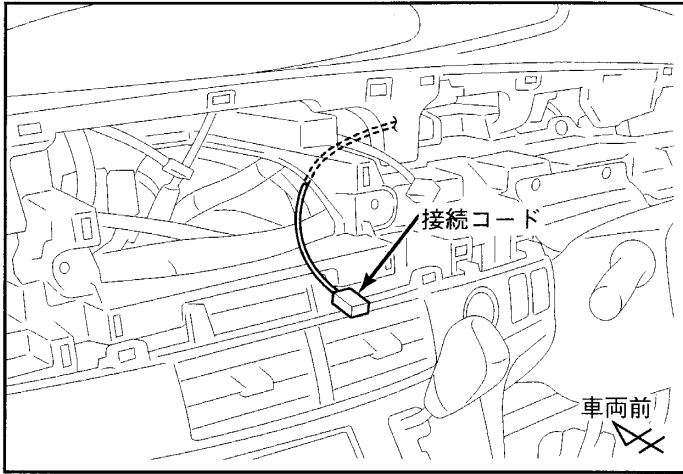
接続コードは、スパイラルケーブル用ハーネスの内側を通し、配線してください。

■ 共通


- (4) 接続コードをバンドクランプおよびハーネス固定テープで固定しながら配線する。

注意

余長分となったコードは、かみ込まないように束ねてバンドクランプを使用して固定してください。



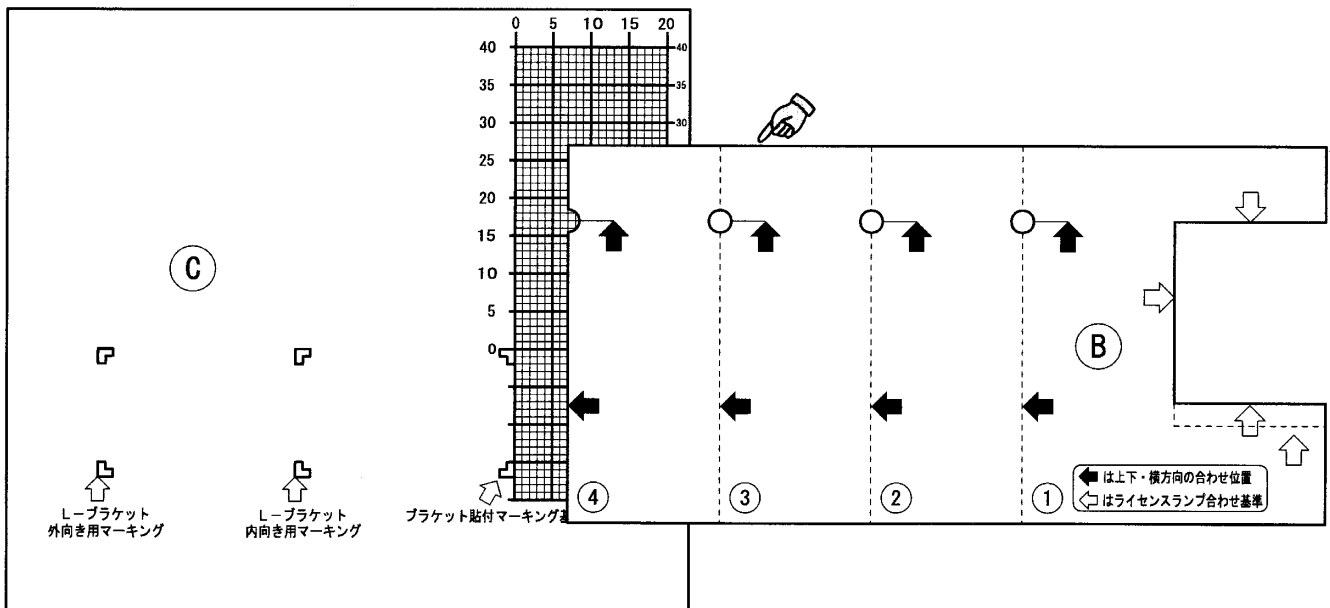
(5) 接続コードを配線する。

- (1) バックモニター貼付用型紙 ②および ③（以降、型紙 ②、③）を使用します。
- (2) 型紙 ②の①と②と③と④を残し、ミシン線に沿って切り取る。
- (3) 型紙 ③の横方向7mmの目盛りラインに型紙 ②の横方向合わせ位置（端面）に合わせる。
- (4) 型紙 ③の上下方向17mmの目盛りラインに型紙 ②の上下方向合わせ位置（半円センターライン↑部）に合わせる。
- (5) 型紙 ②と③をテープで固定する。
- (6) 型紙 ②のライセンスランプ合わせ基準に車両のライセンスランプ取付穴に合わせ、ブラケット貼り付け位置をマーキングする。

アドバイス

“ブラケット貼付マーキング基準”と“L-ブラケット内向き用マーキング位置”をマジック等でマーキングしてください。

バックモニター貼付用型紙の使用サイズ原寸図



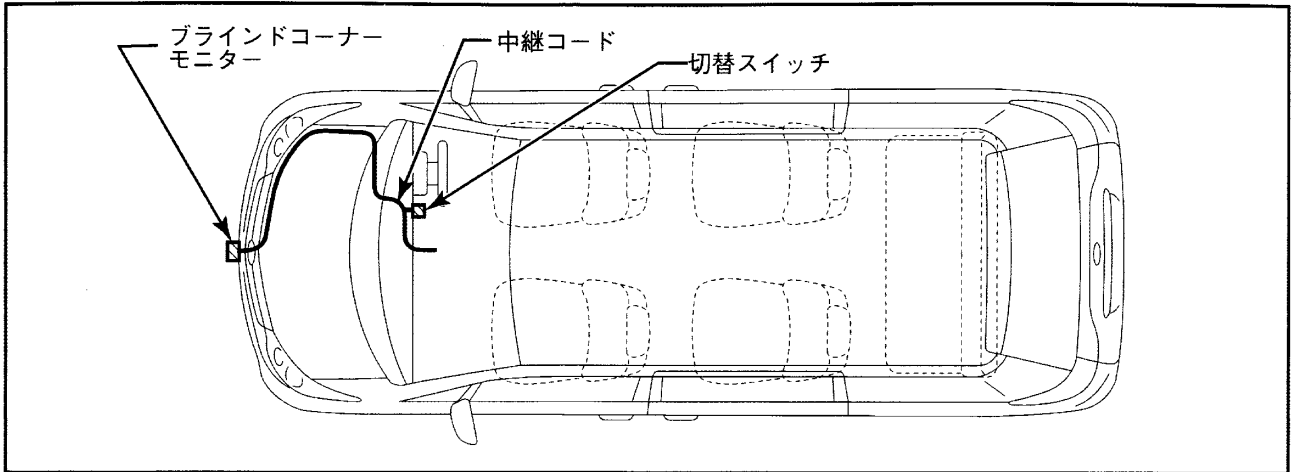
*バックガイドモニターの車両データを「画面入力」で入力する場合は、下記のCRCデータ一覧表を参照し、①～⑱項目の設定値を入力してください。

「入力画面」

アドバイス

「各品目（機種）の概要」の注意事項を確認の上、設定値を入力してください。

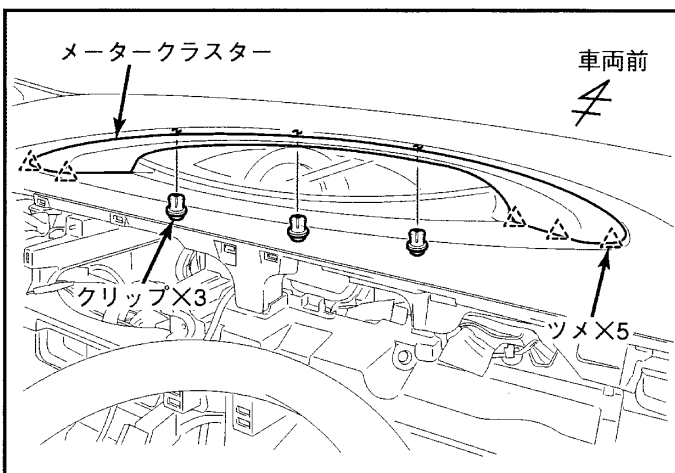
車名		エステイマ	
車両タイプ		06.1～	
全項目CRCコード		A302	
		設定値	個別項目CRCコード
①	旋回特性係数a1	8.248073E-2	8FB1
②	旋回特性係数a2	-1.086621E-5	58BE
③	旋回特性係数a3	4.932691E-8	42FE
④	縦列駐車マージン	450	D556
⑤	ステアリングセンサー種別	1	2672
⑥	車両設定ID	92	A91C
⑦	車両全幅	1800	059F
⑧	車両全長	4795	7FD6
⑨	前後輪軸間距離	2950	5686
⑩	後輪-車両後端距離	971	E144
⑪	調整バー位置	100	C153
⑫	カメラオフセットX	239	5C79
⑬	カメラオフセットY	-979	6E84
⑭	カメラオフセットZ	52	EC71
⑮	チルト角 デフォルト値	-400	246B
⑯	パン角 デフォルト値	0	3653
⑰	ロール角 デフォルト値	0	3653
⑱	カメラ種別	3	0630



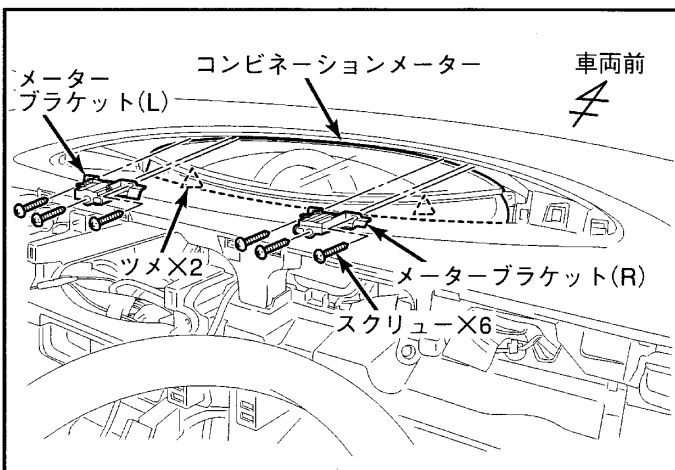
・車両部品の取外し

サイドレジスター (R)
 インパネクラスタ
 目かくしパネル
 アンダーカバー (R)
 フロントドアスカッフプレート (R)
 カウルサイドトリム (R)
 スイッチパネル
 インパネロワカバー

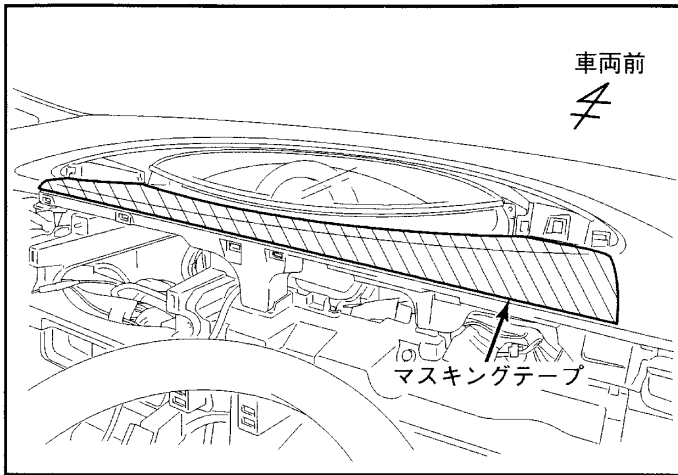
(以上の部品取外しは、1-3 車両部品の取外しを参照)



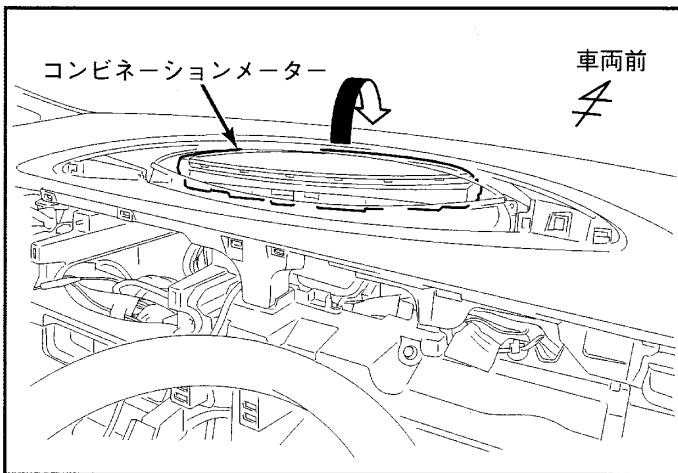
(1) メータークラスターを取り外す。



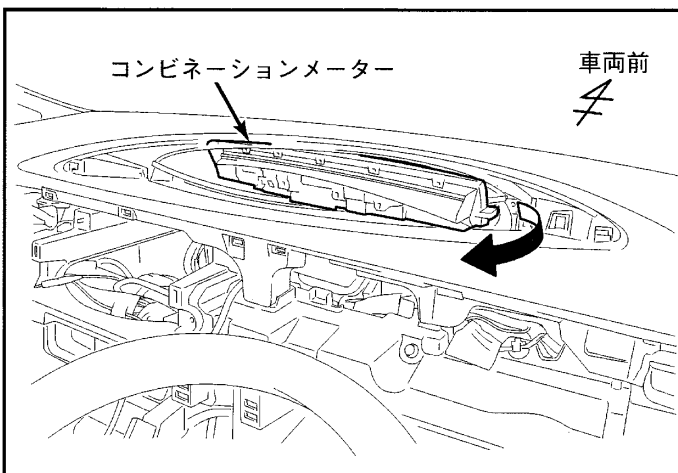
(2) メーターブラケット (L)、(R) を取り外し、コンビネーションメーターのツメ部を外す。



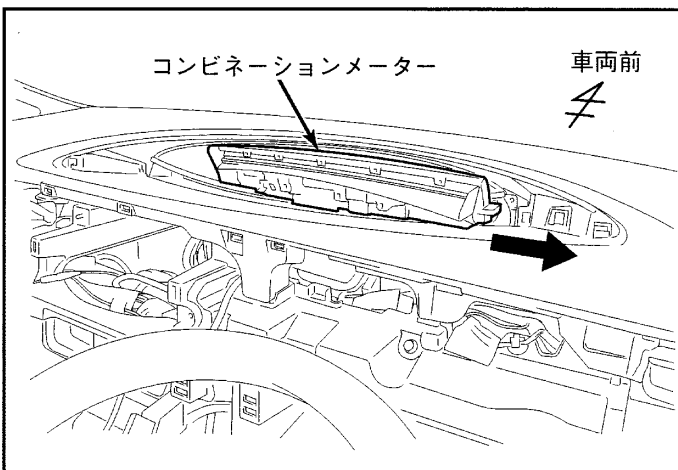
(3) 図中斜線部にマスキングテープを貼り付ける。



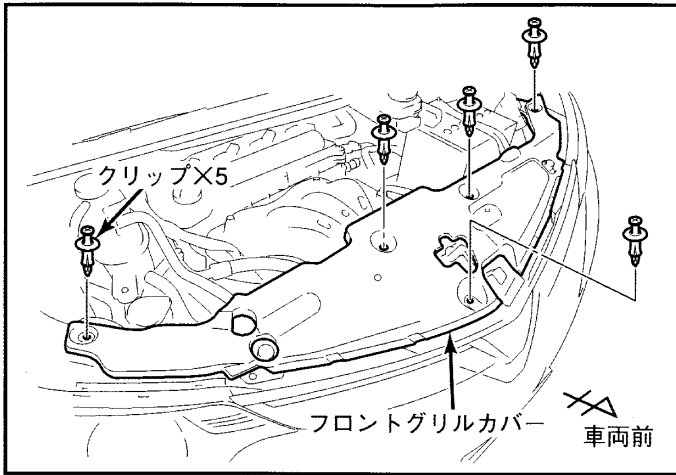
(4) コンビネーションメーターを矢印の方向に倒す。



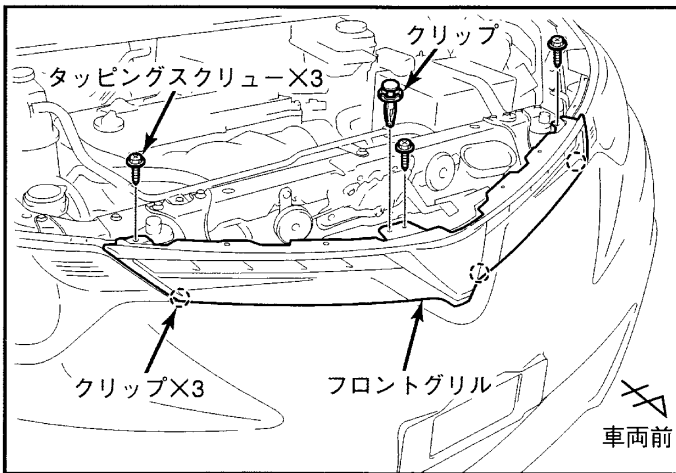
(5) コンビネーションメーターの右側を手前に引き出す。



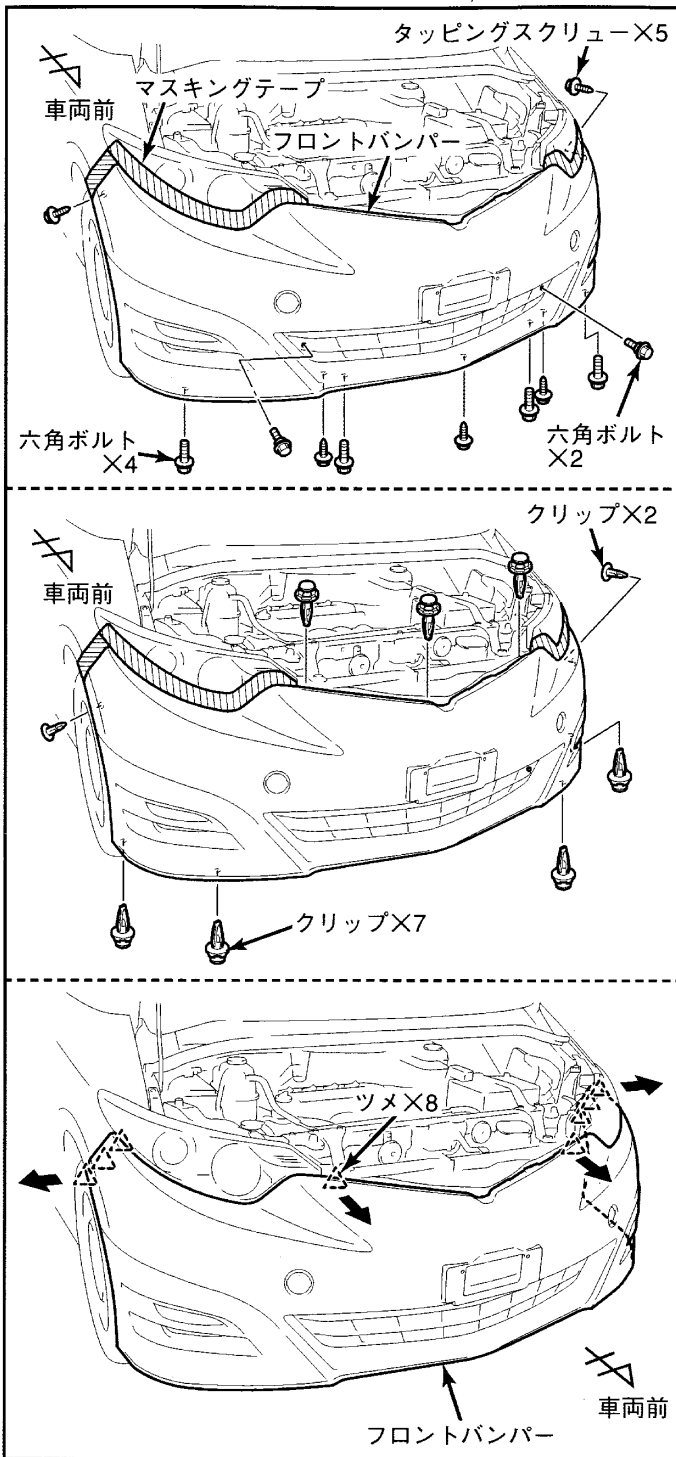
(6) コンビネーションメーターを右方向に引き出し、コンビネーションメーターを取り外す。



(7) フロントグリルカバーを取り外す。



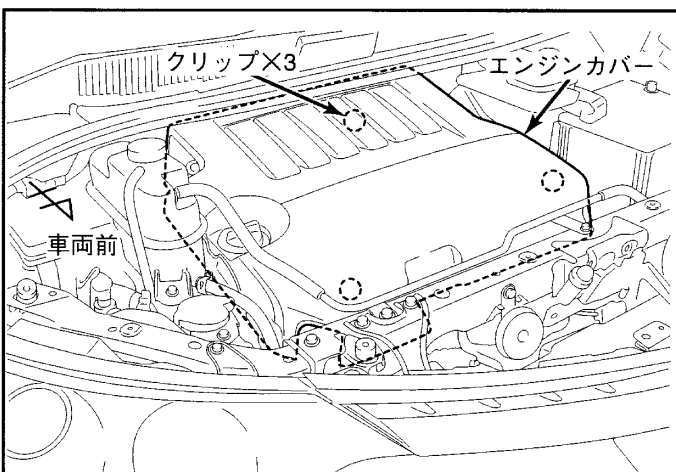
(8) フロントグリルを取り外す。



- (9) 図中斜線部(フロントバンパーの周囲)にマスキングテープを貼り付ける。
- (10) フロントバンパーを取り外す。

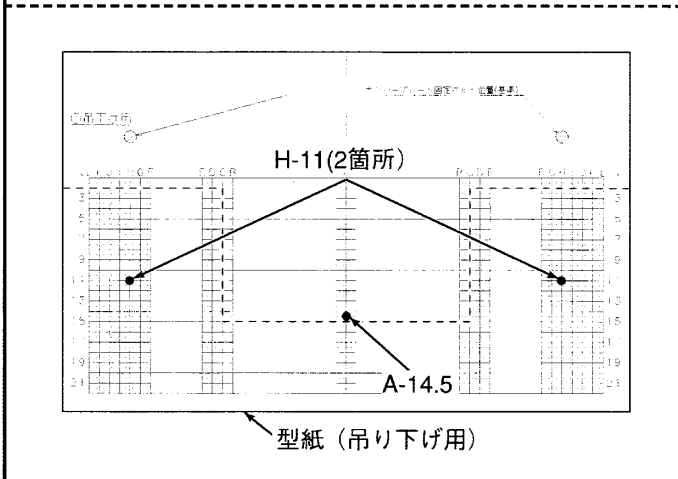
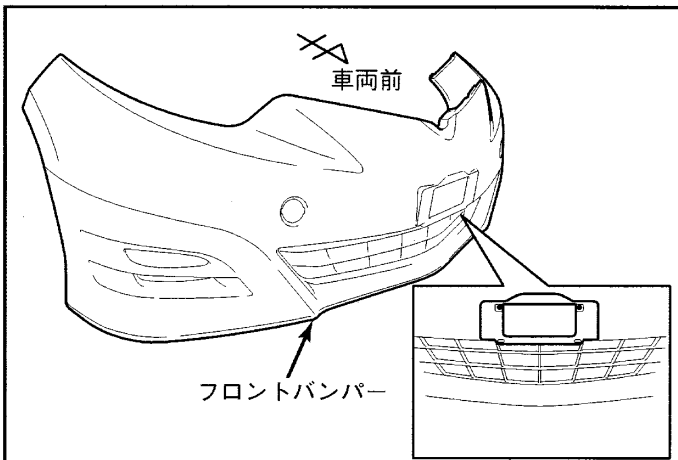
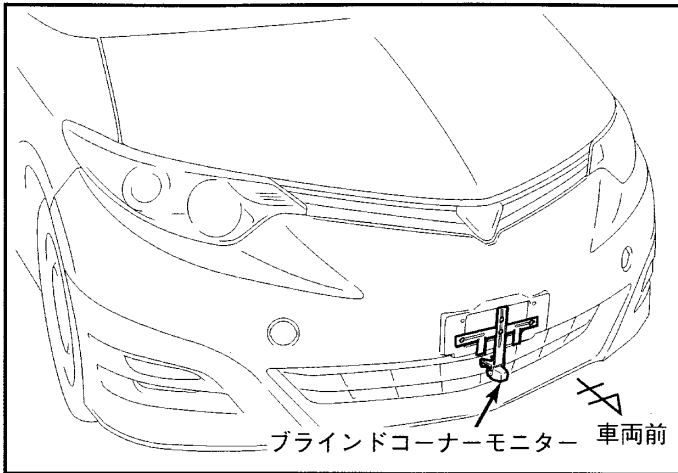
アドバイス

左図はエアロバンパーを示しています。標準バンパーも同様に取り外してください。



■ V6エンジンの場合

- (11) エンジンカバーを取り外す。



・ブラインドコーナーモニターの取付

👉 アドバイス

「各品目（機種）の概要」の注意事項を確認の上、取り付けてください。

■ 取付位置概要

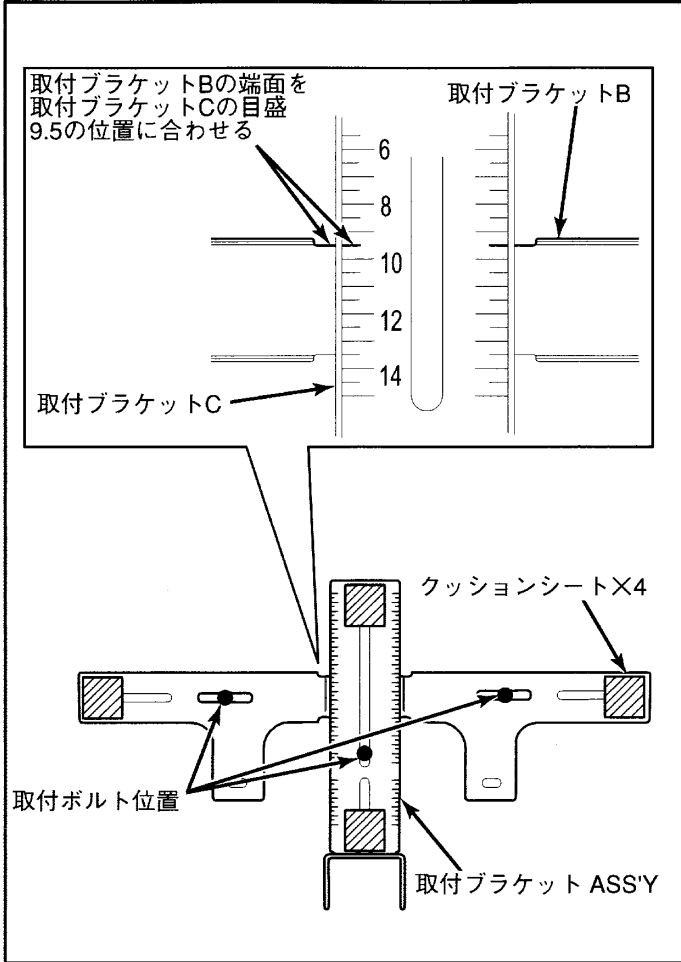
- ・中継コード（フロントバンパー側）の配線
(1) 型紙を使用して、フロントバンパー（ナンバープレート取付位置）にブラケット取付穴を開ける。

⚠ 注意

- ・ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- ・穴あけ作業を行う際、裏側に車両ハーネス等がないことを確認してください。
- ・穴あけ加工部はヤスリがけてバリ取り処理を行ってください。
- ・穴あけ後エアガン等で切り粉を除去してください。
- ・穴あけ加工部は防錆剤を塗布してください。

👉 アドバイス

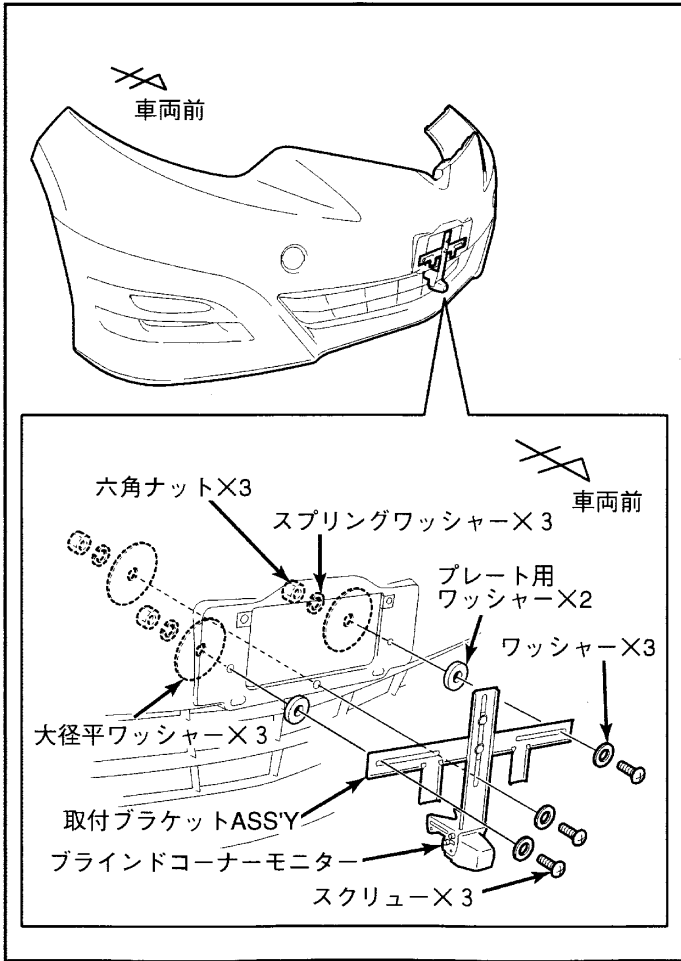
- ・取付ブラケットB、Cを使用して取り付けます。「各品目（機種）の概要」を確認の上、取り付けてください。
- ・左図はエアロバンパーを示しています。標準バンパーも同様に作業を行ってください。
- ・ブラケット取付穴のマーキングは、左図の座標位置にマーキングしてください。



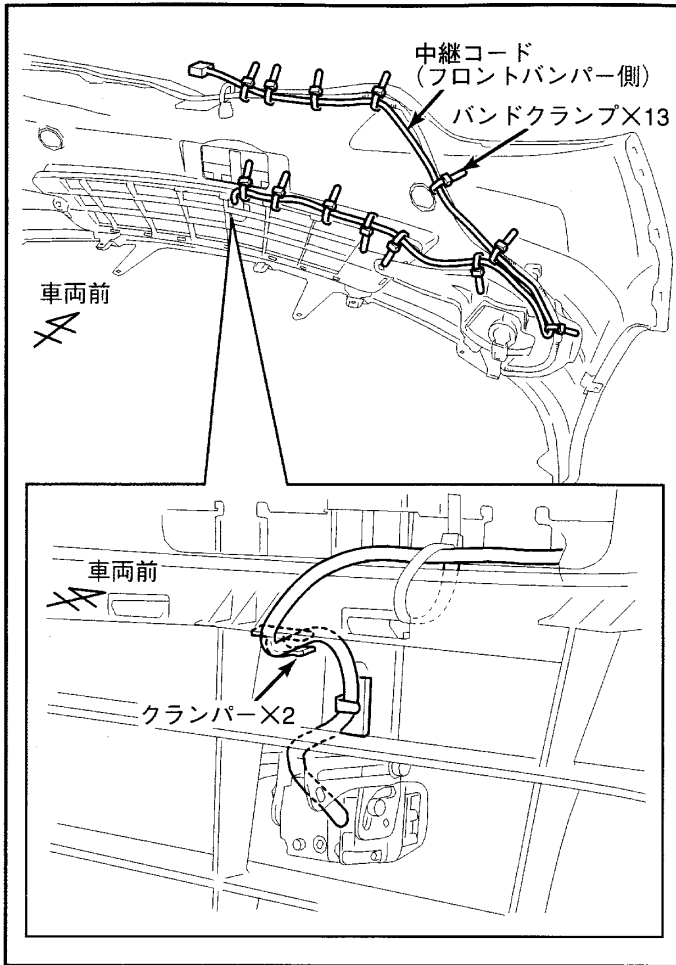
- (2) 取付ブラケットの位置を調整する。
- (3) 取付ブラケットにクッションシートを貼り付ける。

アドバイス

取付ブラケットの位置調整方法は「各品目（機種）の概要」を確認の上、行ってください。



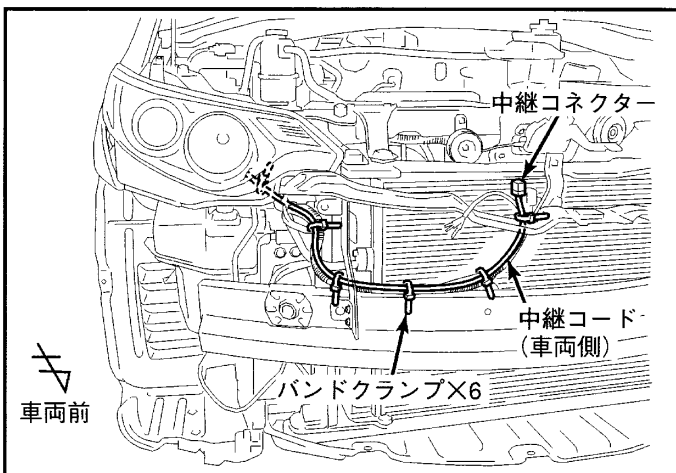
- (4) ブラケット取付位置にブラインドコーナーモニターASS'Yを取り付ける。



(5) 中継コード (フロントバンパー側) を車両ハーネスに沿ってバンドクランプで固定しながら配線する。

👉 アドバイス

- ・フロントバンパーの復元は、中継コード (車両側) の配線が終了するまで、復元しないでください。
- ・車両ハーネスに沿って配線してください。
- ・貼り付ける際、クランパーの貼付位置表面の汚れ、水分、油分を十分にふき取ってください。

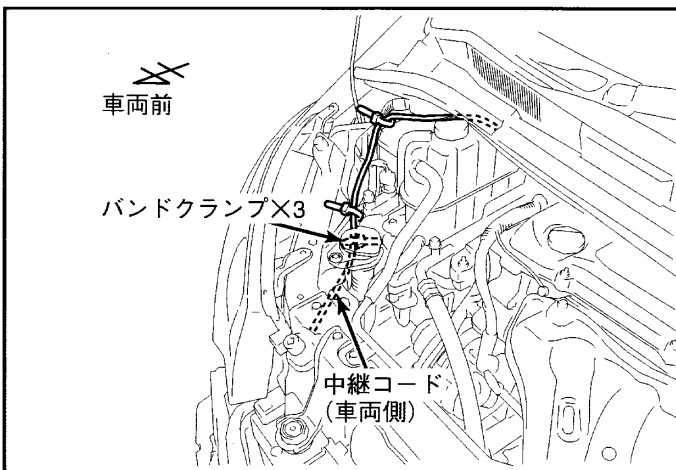


・中継コード (車両側) の配線

(1) 中継コード (車両側) をバンドクランプで固定しながら配線する。

👉 アドバイス

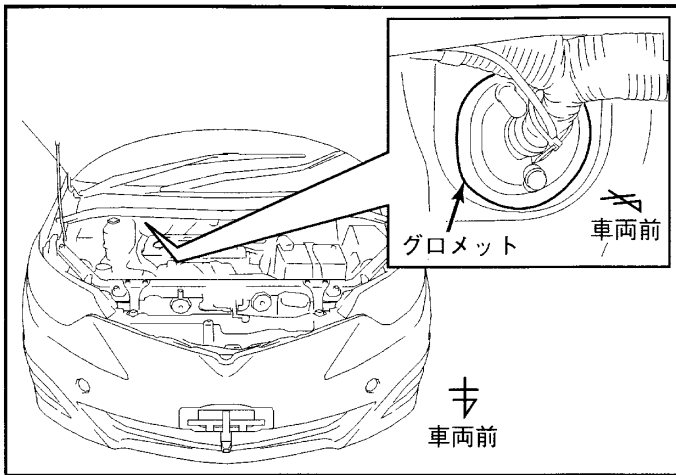
車両ハーネスに沿って配線してください。



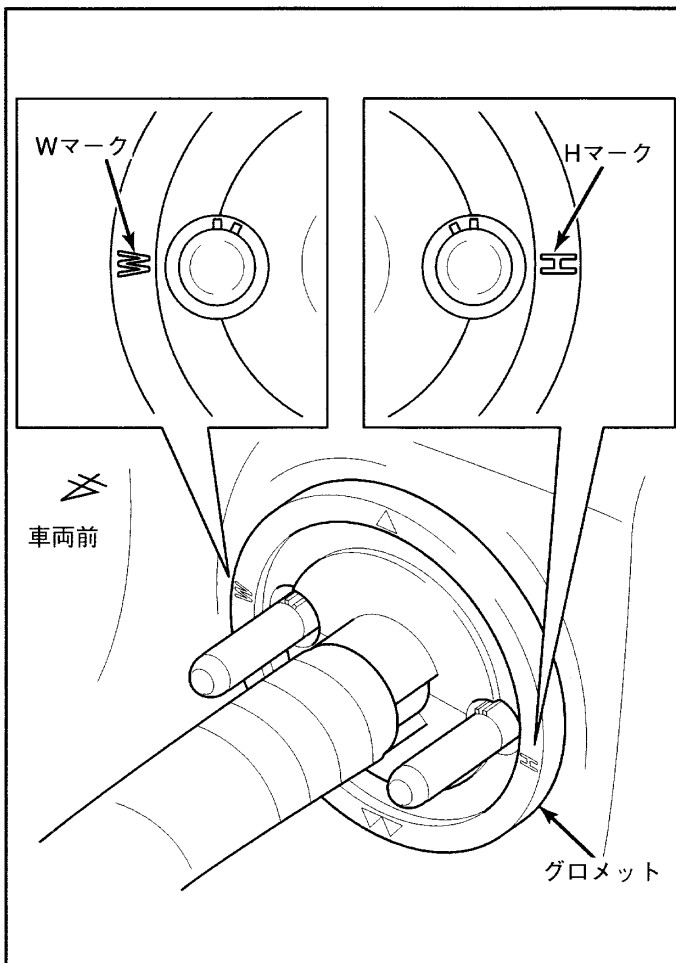
(2) 中継コード (車両側) をバンドクランプで固定しながら配線する。

👉 アドバイス

車両ハーネスに沿って配線してください。

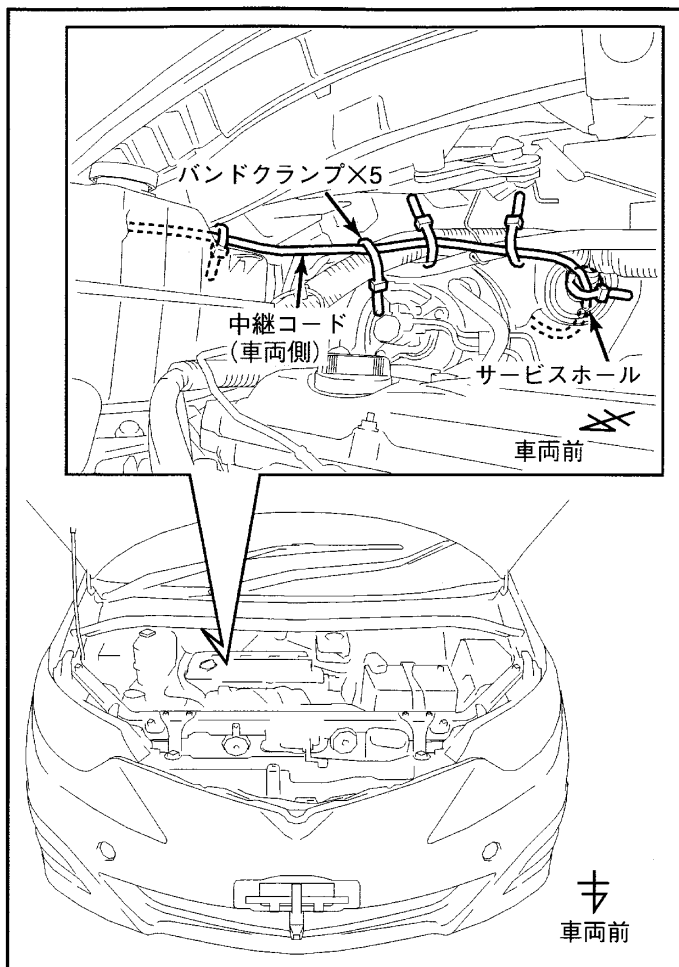


(3) エンジンルーム内のグローメット位置を確認する。



(4) グロメットのサービスホールマークを確認する。

アドバイス
 グロメットに左図のマークがある場合、Wマークのサービスホールを使用してください。



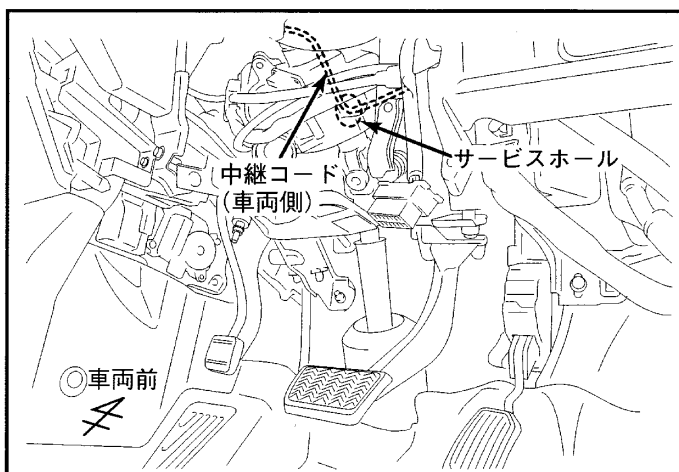
- (5) 中継コード (車両側) をバンドクランプで固定しながら配線する。
- (6) サービスホールから車室内に中継コードを引き込む。

⚠ 注意

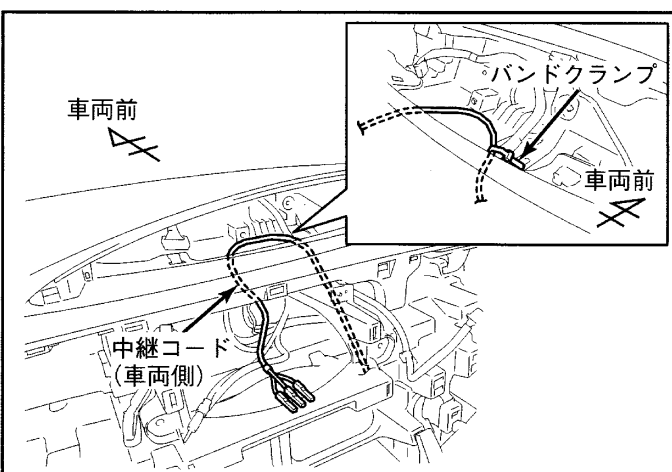
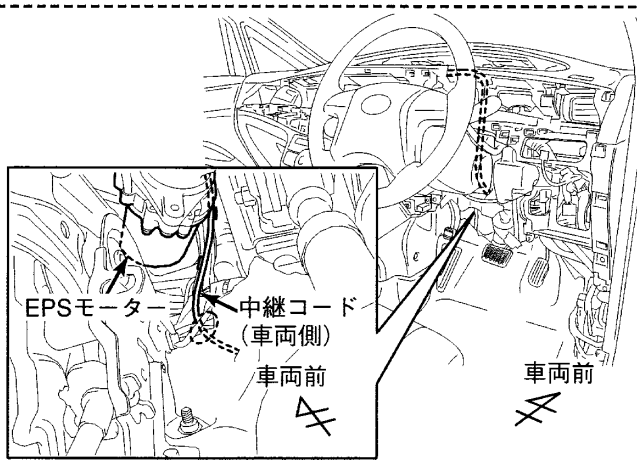
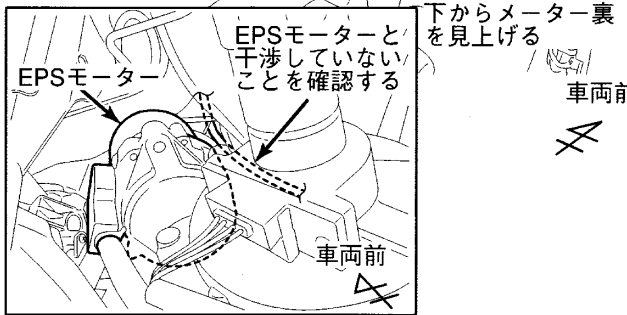
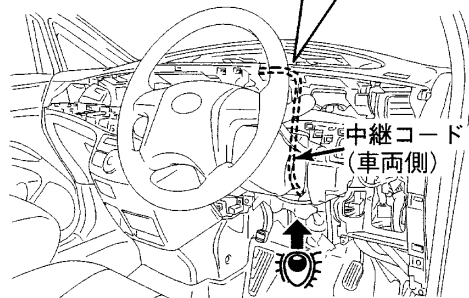
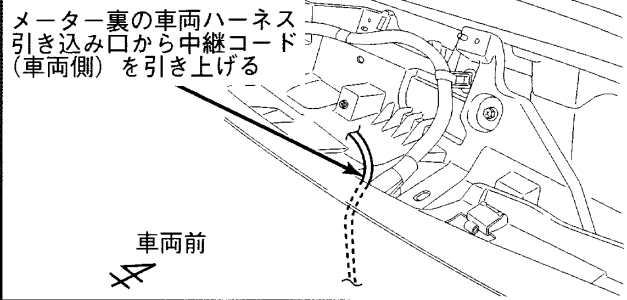
中継コードをサービスホールに配線した後、防水処理を確実に行ってください。

👉 アドバイス

車両ハーネスに沿って配線してください。



- (7) 運転席足元EPSモーター裏付近のサービスホールから中継コード (車両側) を引き出す。



(8) 中継コード(車両側)をメーター裏まで引き上げる。

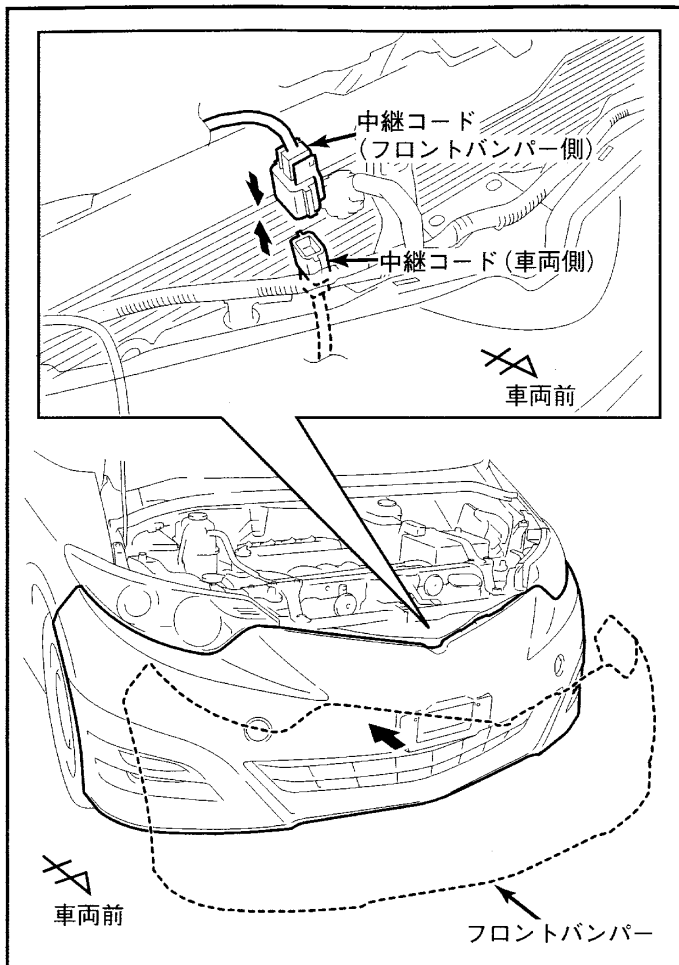
△注意

EPSモーターと中継コード(車両側)が干渉しないようにしてください。EPSモーターは高温になるため、中継コード(車両側)が干渉していると中継コードの被服が溶け、不具合の原因になります。

👉アドバイス

- ・中継コードを引き上げる位置をメーター裏から確認してください。
- ・メーター裏の車両ハーネス引き込み口から懐中電灯等で上から光をあて、運転席足元からメーター裏懐中電灯光を目印にして中継コード(車両側)を引き上げてください。

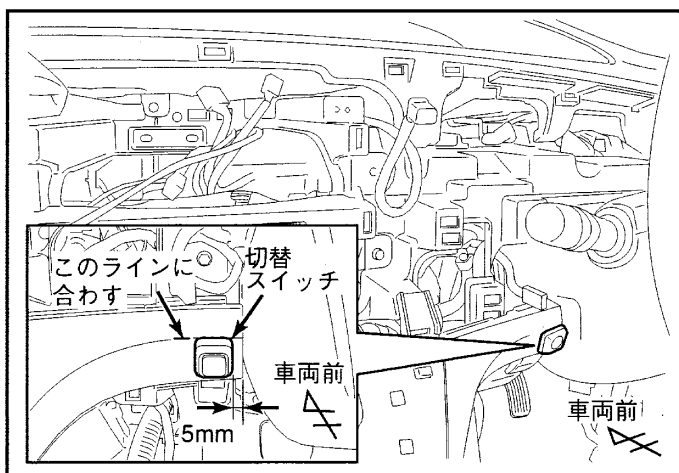
(9) 中継コードをバンドクランプで固定しながらオーディオ開口部まで配線する。



- (10) フロントバンパーを組み付けながら、中継コードのコンネクターを接続する。

△注意

フロントバンパーを復元する前に、中継コードのコンネクターを接続してください。フロントバンパーを復元した後では、中継コードのコンネクターは接続できません。



・切替スイッチの配線

- (1) 切替スイッチをダッシュボードに寸法通りに取り付ける。

👉アドバイス

貼り付ける際、切替スイッチの貼付位置表面の汚れ、水分、油分を十分にふき取ってください。

- (2) 切替スイッチコードをハーネス固定テープおよびバンドクランプで固定しながら配線する。

△注意

余長分となった切替スイッチコードはかみ込まないように束ねてバンドクランプを使用して固定してください。

- (3) 切替スイッチコードのコンネクターに中継コードのピンを差し込む。

👉アドバイス

中継コードのピン差し込み位置を間違えないよう「各品目（機種）の概要」を確認の上、型紙を使用して行ってください。

